

令和3年11月16日

特定非営利活動法人

静岡県介護支援専門員協会

会長 村田 雄二 様

一般社団法人静岡市ケアマネット協会

会長 間瀬 栄二

(担当：稲持弘次)

「シズケア*かけはし」利用実態等アンケート調査 報告書

表記の件につき下記の通りご報告いたします。

記

I 利用実態アンケート調査報告

1 アンケート調査の目的

・静岡県内の介護保険登録事業所に所属する介護支援専門員を対象に、シズケア*かけはしの利用実態を把握するための調査を実施し、今後の活用推進を図る取り組みの参考とする。

2 調査方法

- ・期間：令和3年8月23日～9月24日
- ・対象：静岡県内の介護保険登録事業所に所属する介護支援専門員（個人）457人
- ・方法：インターネット上の回答フォームに入力するアンケート

3 調査内容

- (1)-1 システムを知っているか
- (1)-2 知っている場合の情報入手元
- (2)-1 システムに登録しているか
- (2)-2 登録していない場合の理由
- (3)-1 システムを活用しているか
- (3)-2 活用していない場合の理由
- (4) 活用している（してみたい）機能
- (5) 知っている他のシステム
- (6) システムの改善点

4 調査結果

※別紙「利用実態アンケート結果報告」参照

II ユーザーアンケート調査報告

1 アンケート調査の目的

・シズケア*かけはしに登録されている居宅介護支援事業所を対象に、シズケア*かけはしの活用の実態を把握するための調査を実施し、今後の活用推進を図る取り組みの参考とする。

2 調査方法

- ・期間：令和3年8月23日～9月24日

- ・対象：シズケア＊かけはしに登録されている居宅介護支援事業所等（事業所）190 ユーザー
- ・方法：インターネット上の回答フォームに入力するアンケート

3 調査内容

- (1) 活用頻度
- (2) 活用している機能
- (3) 活用できていない場合の理由
- (4) 連携している（したい）相手先
- (5) 活用している（したい）ケアマネジメント過程の場面
- (6) 活用している（したい）加算・基準
- (7) 普及のために必要と思われること
- (8) 利用料金の満足度
- (9) システム全体の満足度
- (10) 改善点
- (11) 今後期待する活用場面・方法
- (12) 役に立つ使い方

4 調査結果

※別紙「ユーザーアンケート結果報告」参照

以上

シズケア*かけはし「利用実態アンケート」調査 結果報告

はじめに

●実施期間は、令和3年8月23日～9月24日

●対象は、静岡県内の介護保険登録事業所に所属する介護支援専門員（個人）。457人から回答があった。

●結果をまとめるにあたり

①最初に各質問毎の全体の結果を図表で表示した。

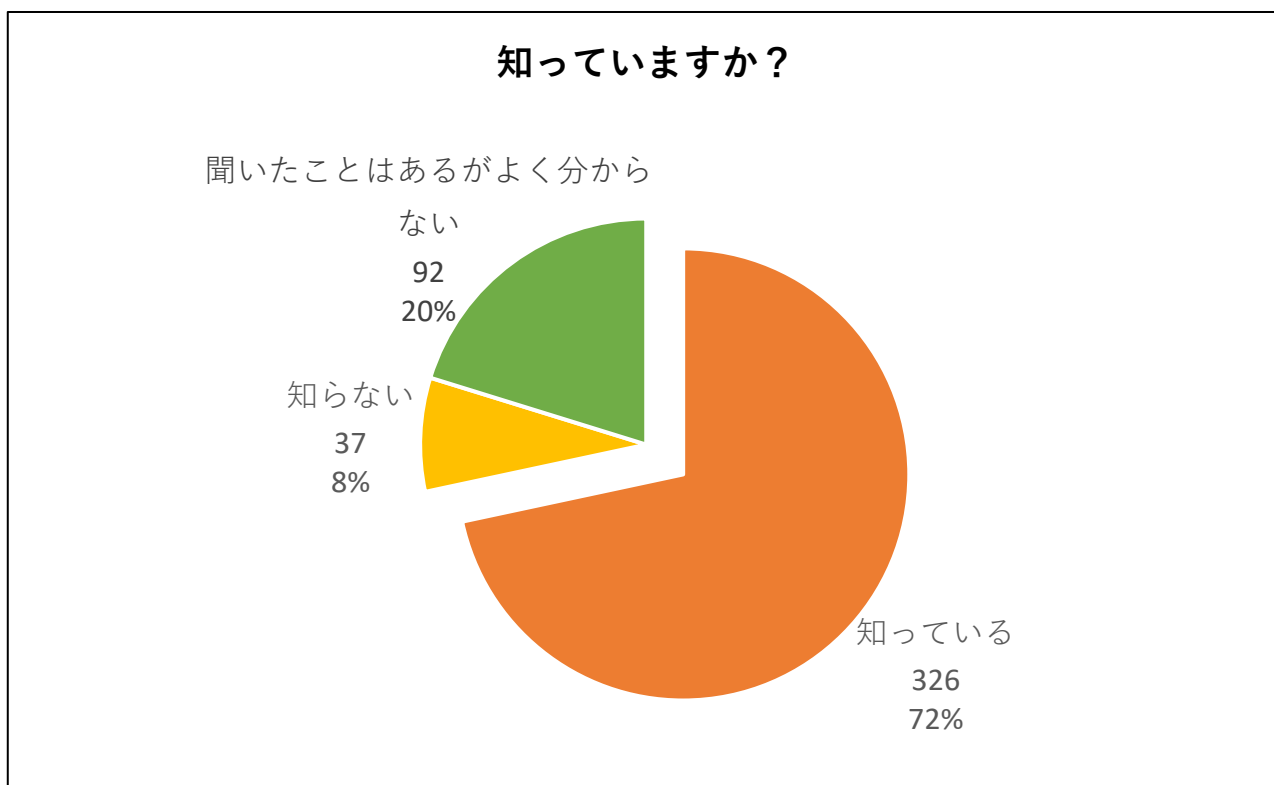
②介護保険登録事業所番号から回答者を「東部」「中部」「西部」に分類（※）し、その結果を参考として図表で表示した。

※

東部	下田市	東伊豆町	河津町	南伊豆町	松崎町	西伊豆町	沼津市	熱海市
	三島市	富士宮市	伊東市	富士市	御殿場市	裾野市	伊豆市	伊豆の国市
	函南町	清水町	長泉町	小山町				
中部	静岡市	島田市	焼津市	藤枝市	牧之原市	吉田町	川根本町	
西部	浜松市	磐田市	掛川市	袋井市	湖西市	御前崎市	菊川市	森町

1 「シズケア*かけはし」を知っていますか？ (457人)

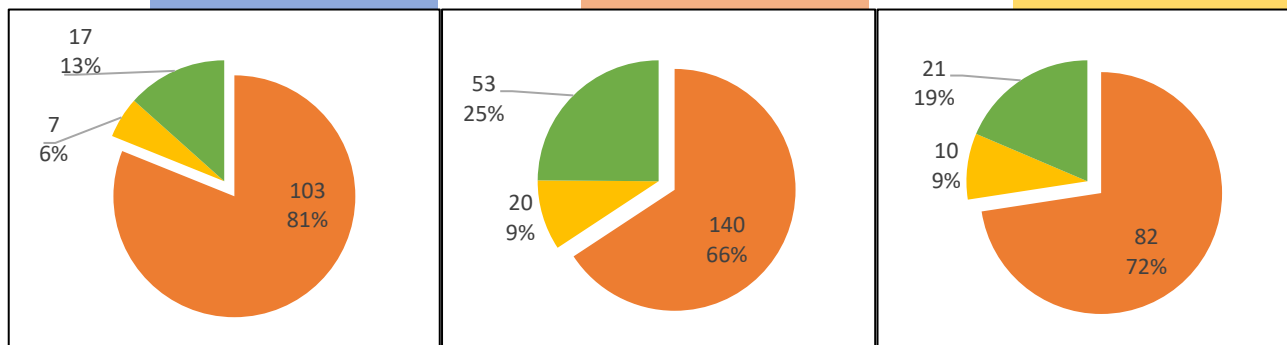
図表1



図表1-1 東部 (127人)

図表1-2 中部 (213人)

図表1-3 西部 (113人)



●シズケア*かけはしを72%の人が知っていると答えた。聞いたことがあるを含めると92%になる (図表1)。

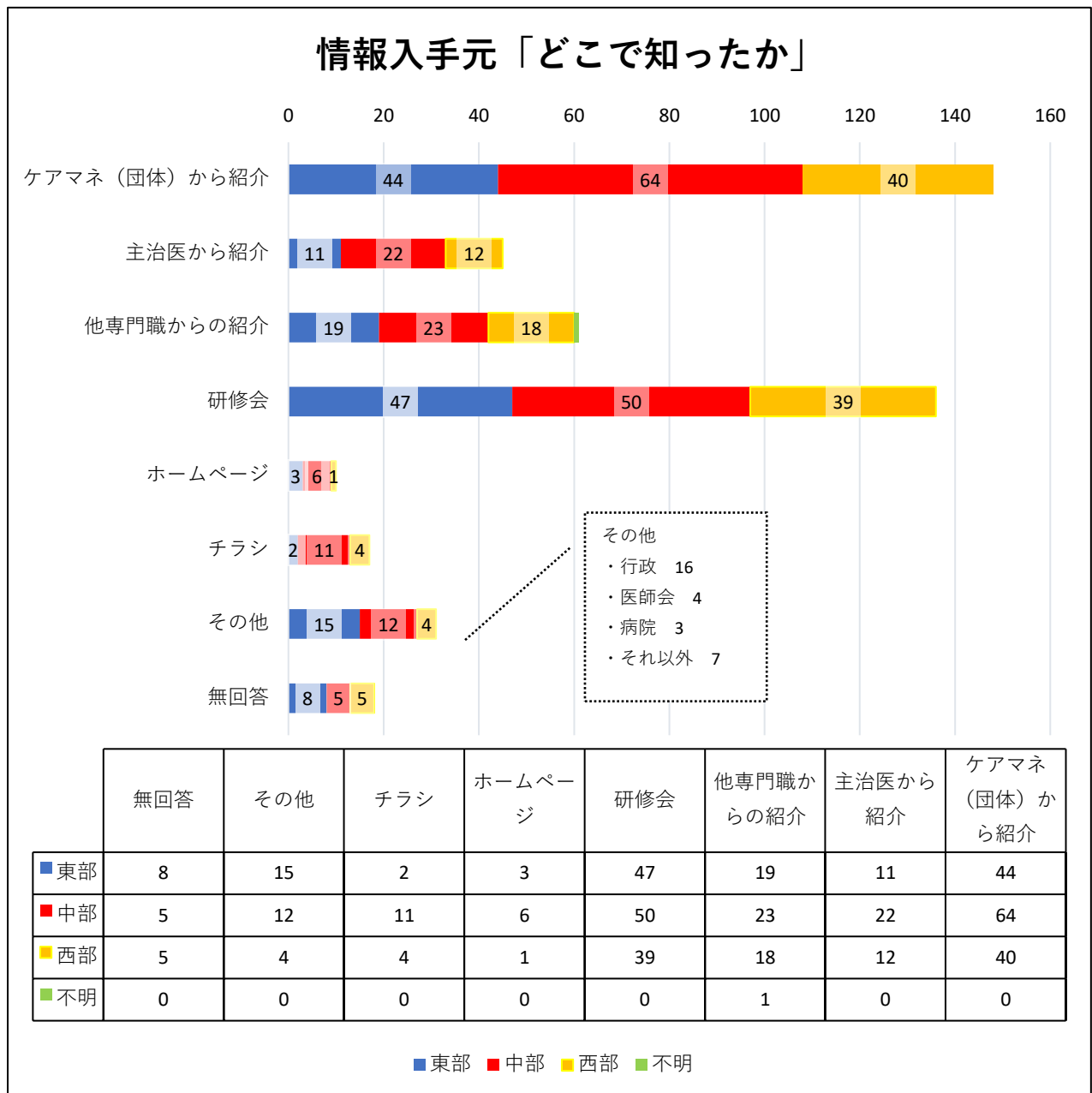
●東部の知っていると答えた人は81%と多く、西部では72%、中部では66%にとどまっている。聞いたことがあるまで含めると、東中西のいずれも9割を超える (図表1-1, 図表1-2, 図表1-3)。

●情報入手元としては、ケアマネ (団体) から紹介 (148) と研修会 (136) から知った方が多い。主治医からの紹介 (45) は意外と少ない。チラシ (17) やホームページ (10) からはほとんどない (図表2)。

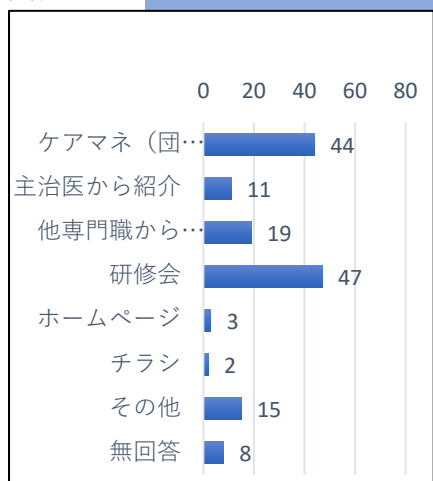
●東中西の差はあまり見られない (図表2-1, 図表2-2, 図表2-3)。

2 「シズケア*かけはし」をどこで知りましたか？（複数回答・327人）

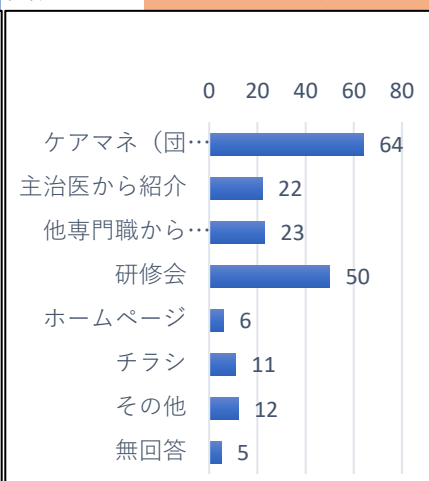
図表2



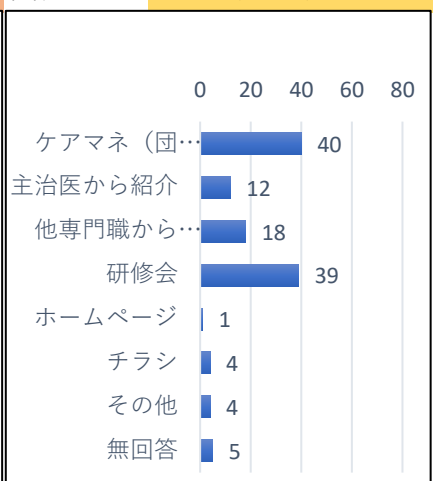
図表2-1 東部（103人）



図表2-2 中部（140人）

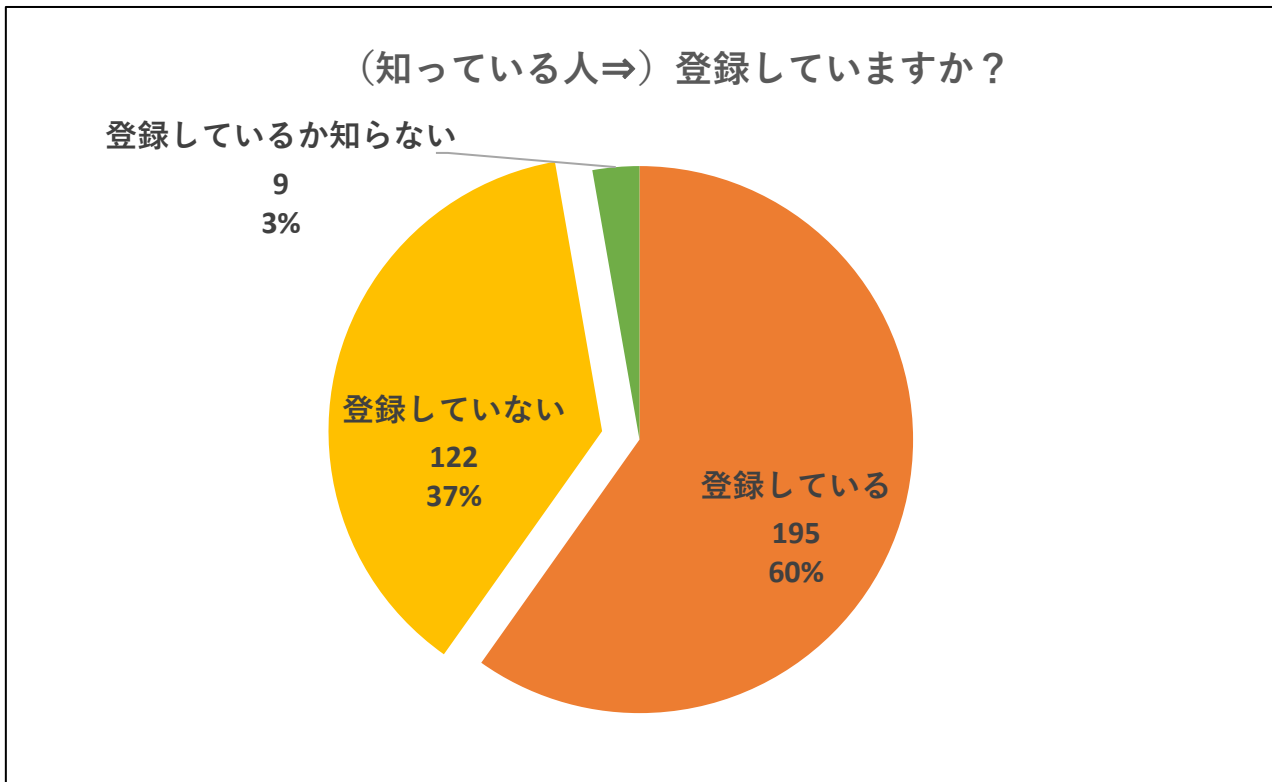


図表2-3 西部（82人）



3 事業所で登録していますか？ (328人)

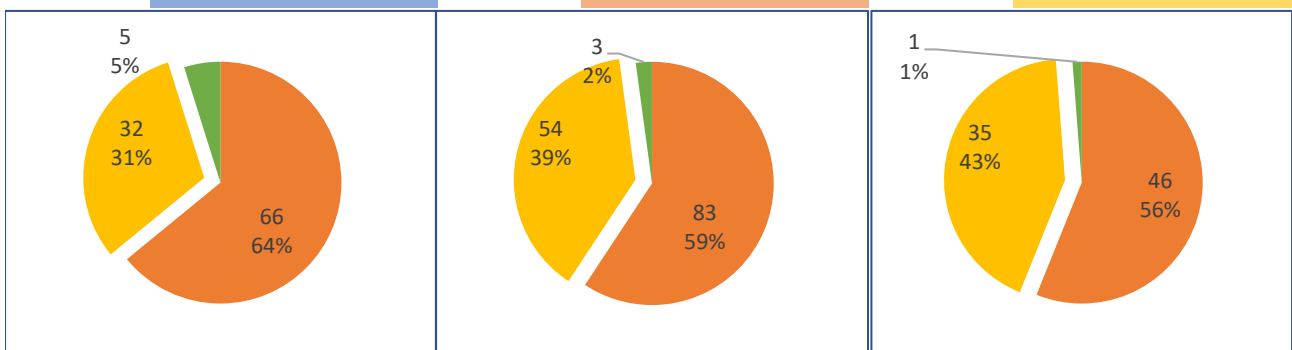
図表3



図表3-1 東部 (103人)

図表3-2 中部 (140人)

図表2-3 西部 (82人)



●知っている人の中で登録している人の割合は60% (図表3)。

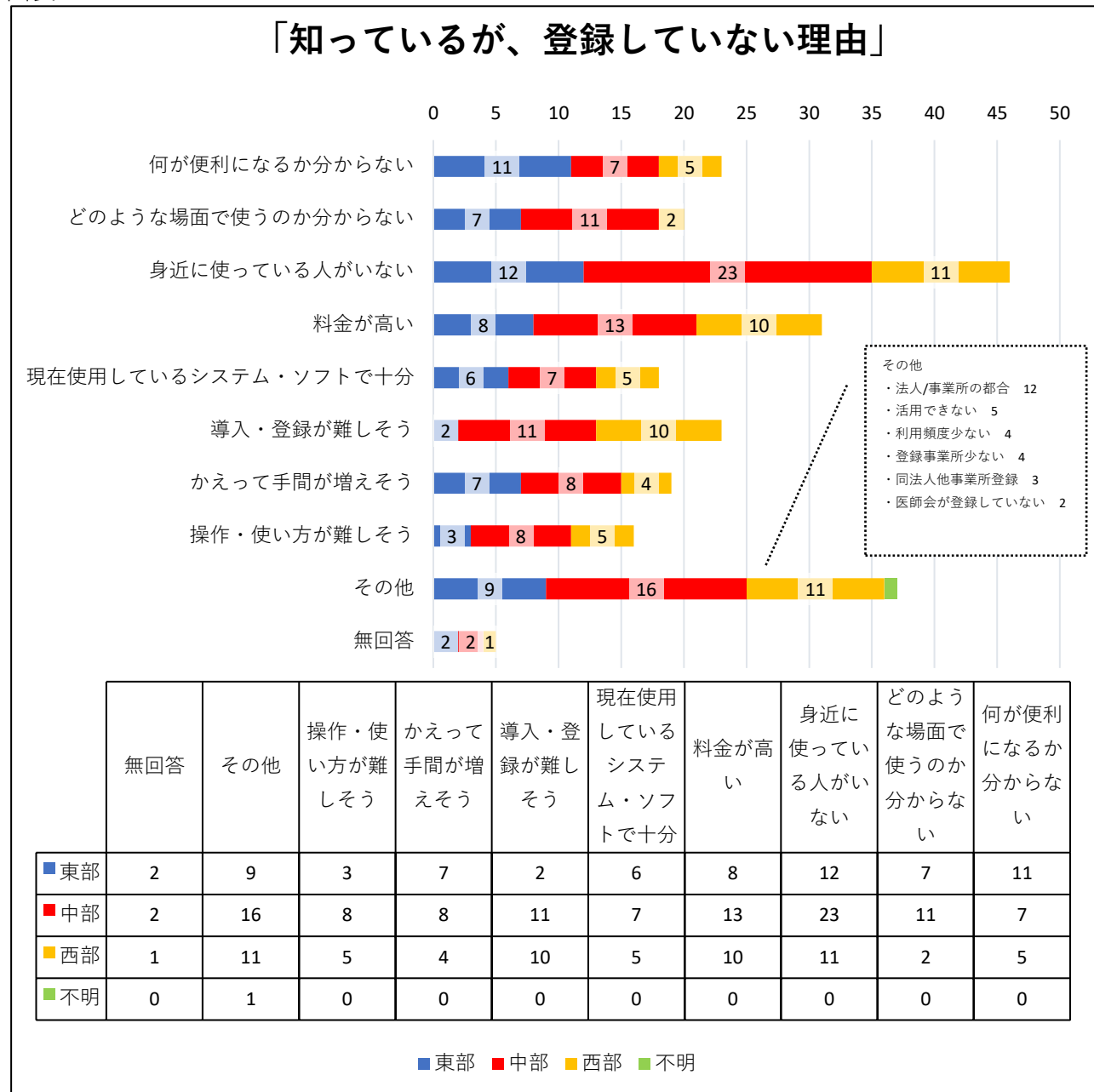
●東中西のさはあまり見られないが、比較的東部での登録 (64%) が多い (図表3-1, 図表3-2, 図表3-3)。

●知っているが登録していない理由では、身近に使っている人がいない (46) が一番多く、次いで料金が高い (31) が多い (図表4)。

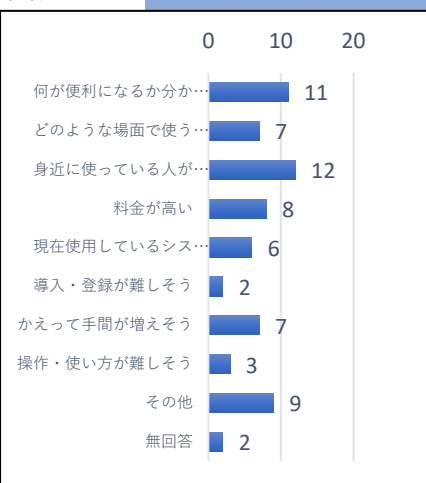
●東部では、導入・登録が難しそう (2) や操作・使い方が難しそう (3) が他地域と比べて低い (図表4-1, 図表4-2, 図表4-3)

4 登録していない理由を教えてください (複数回答・122人)

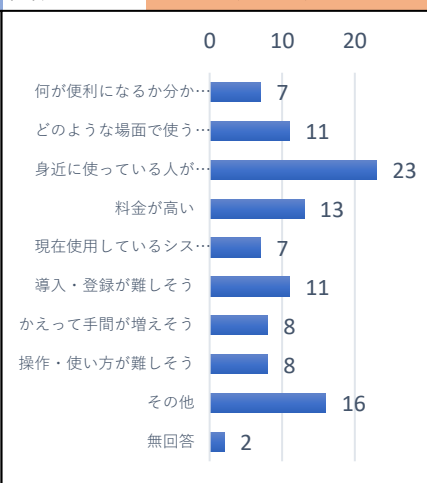
図表4



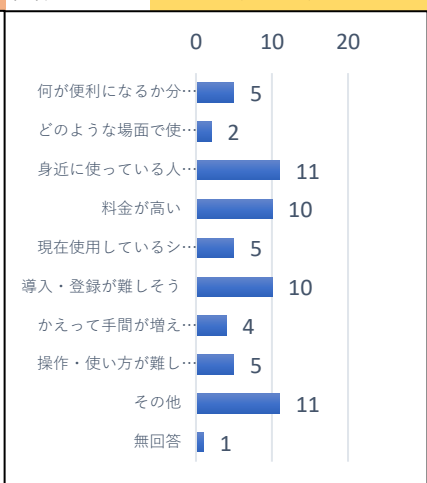
図表4-1 東部 (32人)



図表4-2 中部 (54人)

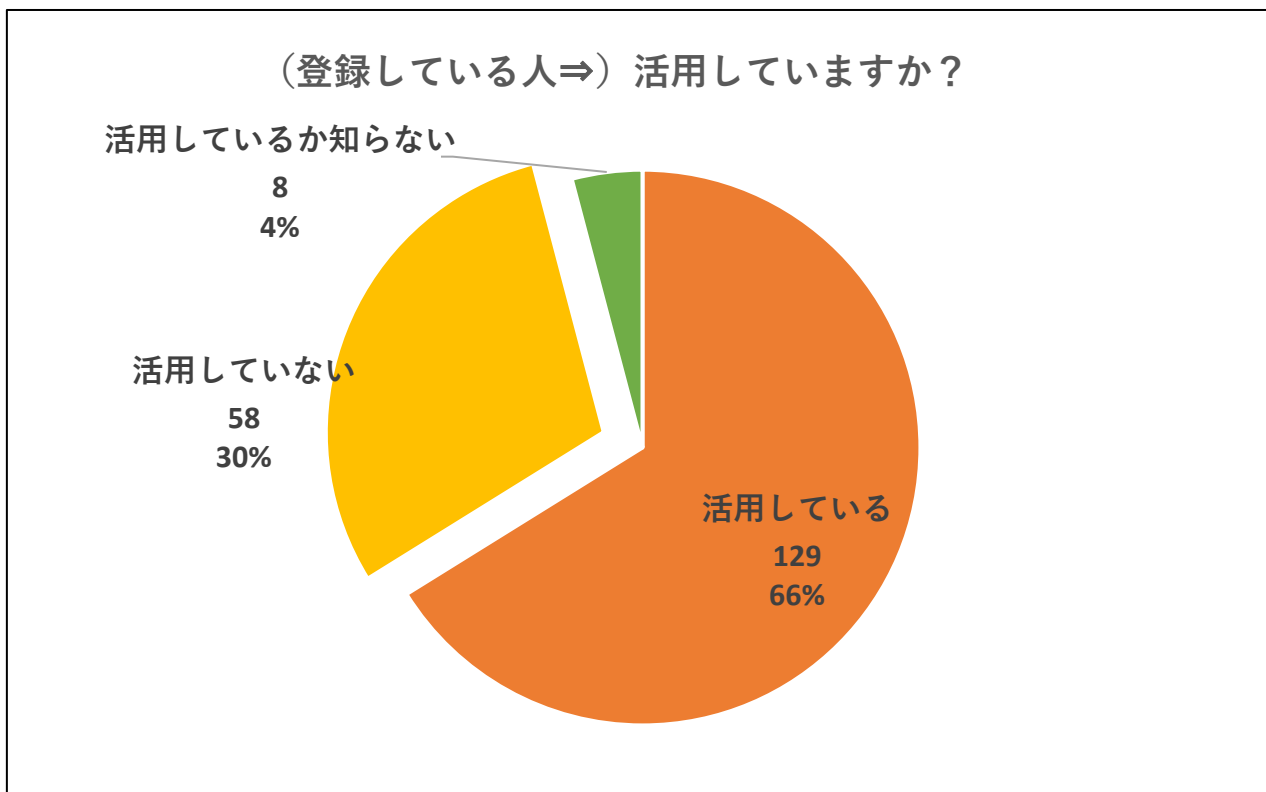


図表4-3 西部 (35人)



5 このシステムを活用していますか？ (197人)

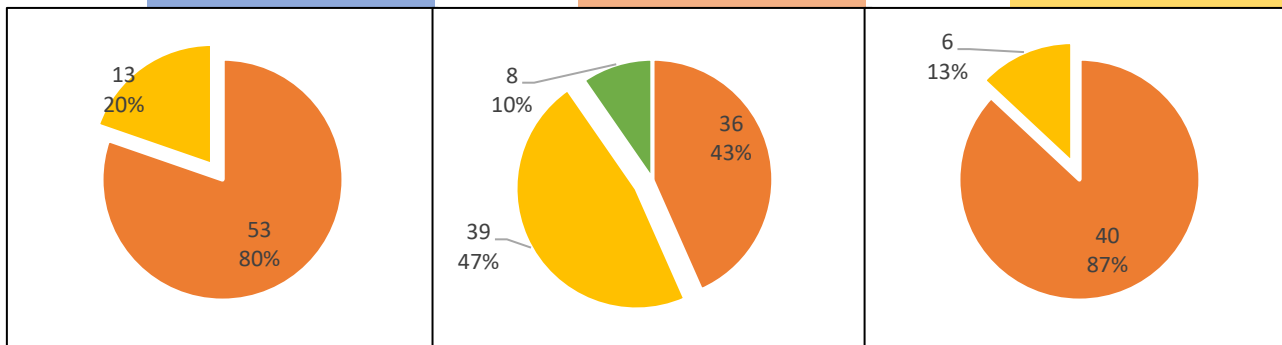
図表5



図表5-1 東部 (66人)

図表5-2 中部 (83人)

図表5-3 西部 (46人)



●登録している人の中で、活用しているのは66% (図表5)。

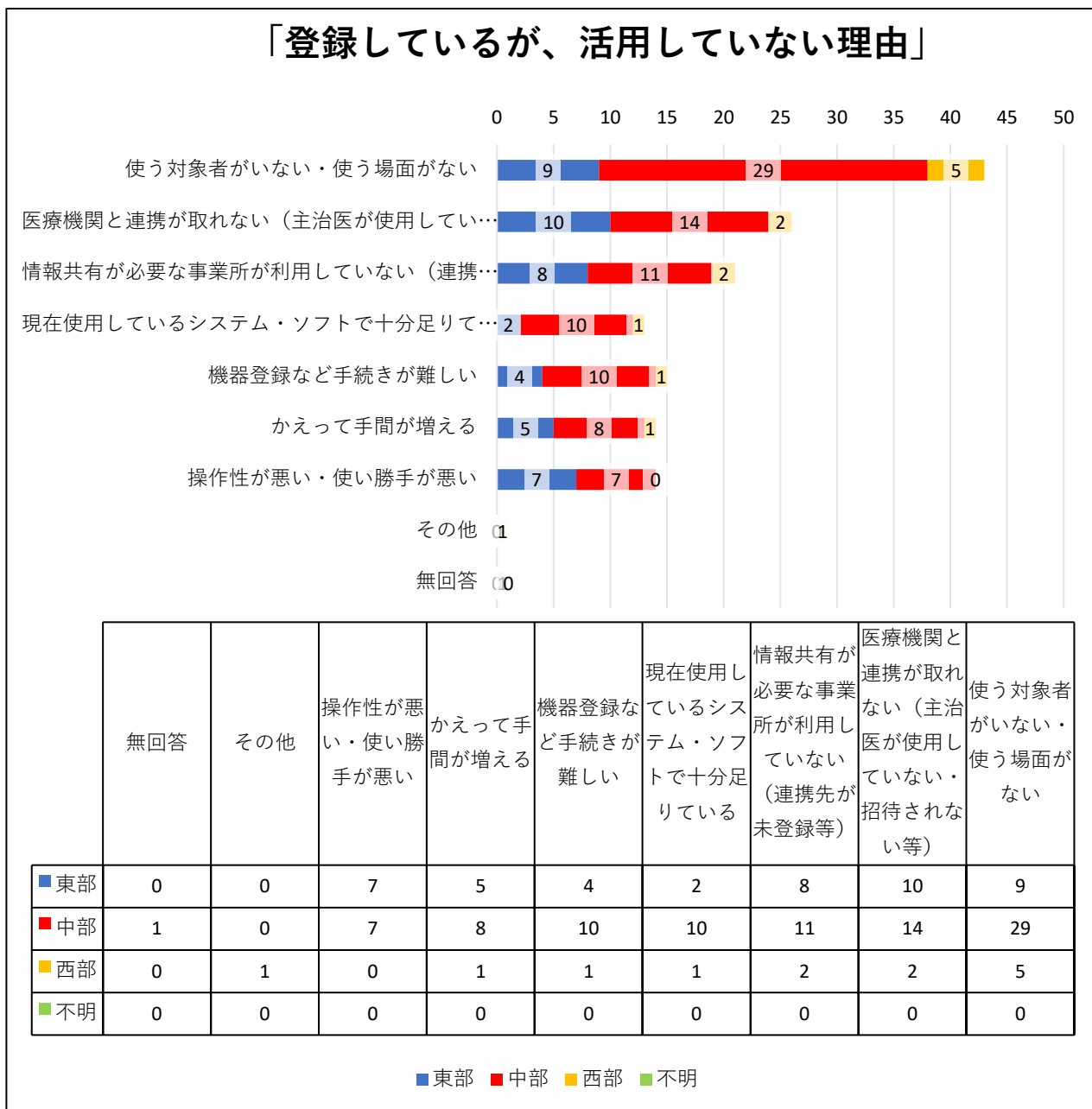
●中部では、活用していない人の割合が他地域と比べてかなり高い (47%)。

●活用していない理由として、使う対象者がいない・使う場面がない (43) が特に多い。特に中部の人が多い (図表6)

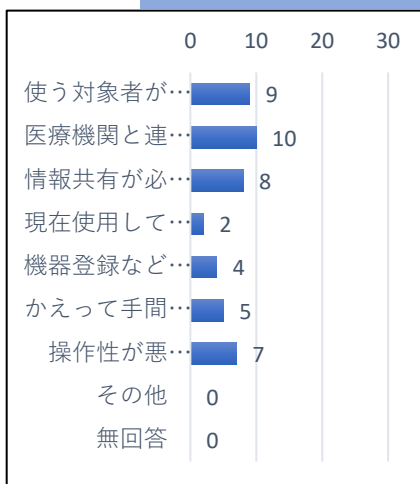
●東部では、医療機関と連携が取れない (10) や情報共有が必要な事業所が利用していない (8)、操作性が悪い・使い勝手が悪い (7) が他の項目に比べて比較的高い割合になっている (図表6-1, 図表6-2, 図表6-3)。

6 活用していない理由を教えてください (複数回答・58人)

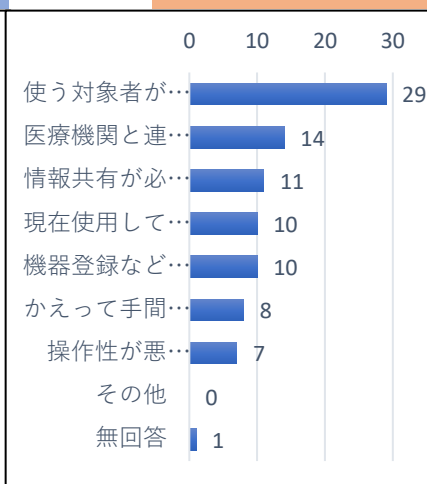
図表6



図表6-1 東部 (13人)



図表6-2 中部 (39人)

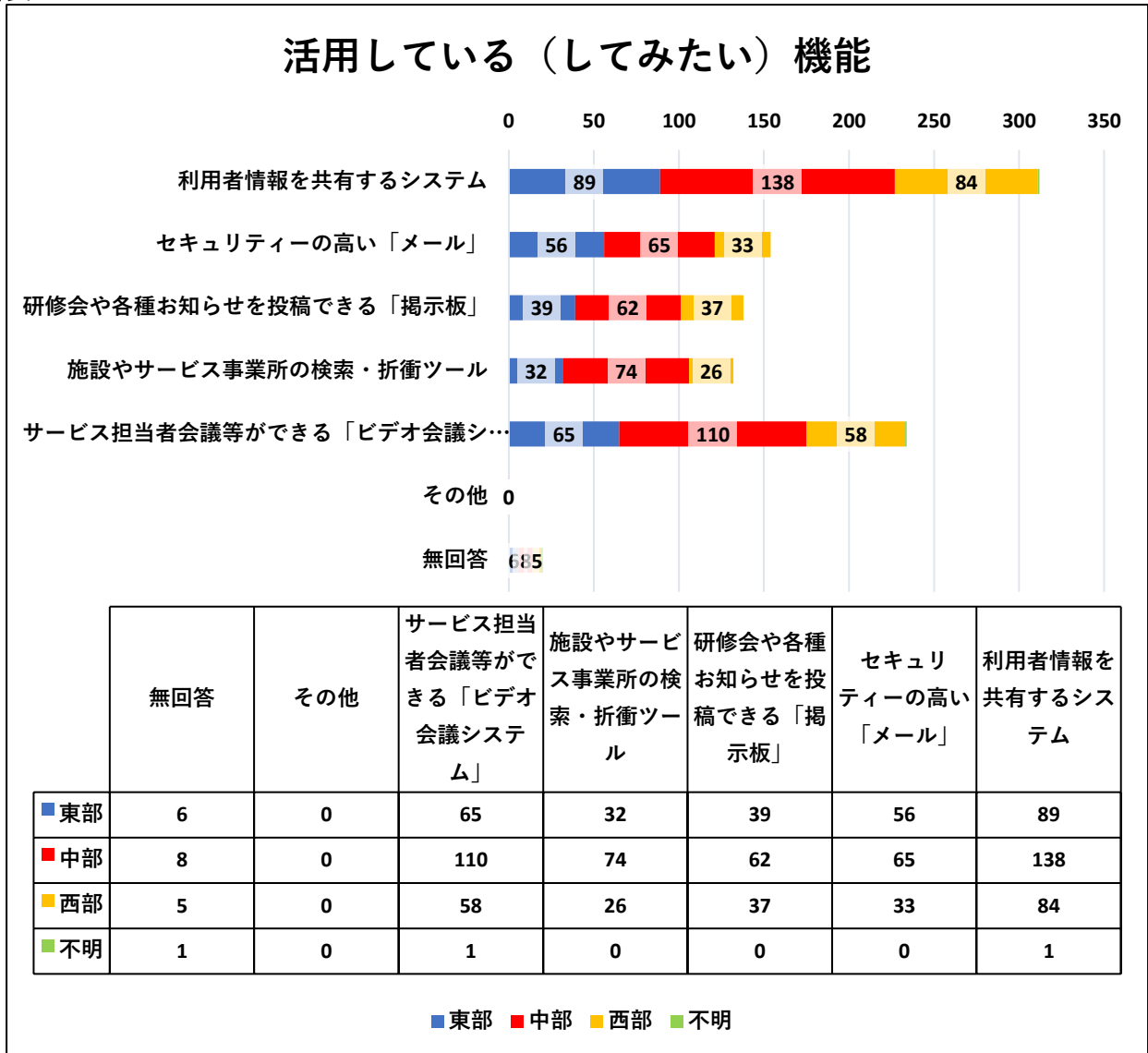


図表6-3 西部 (6人)



7 活用している（活用してみたい）機能を教えてください（複数回答・457人）

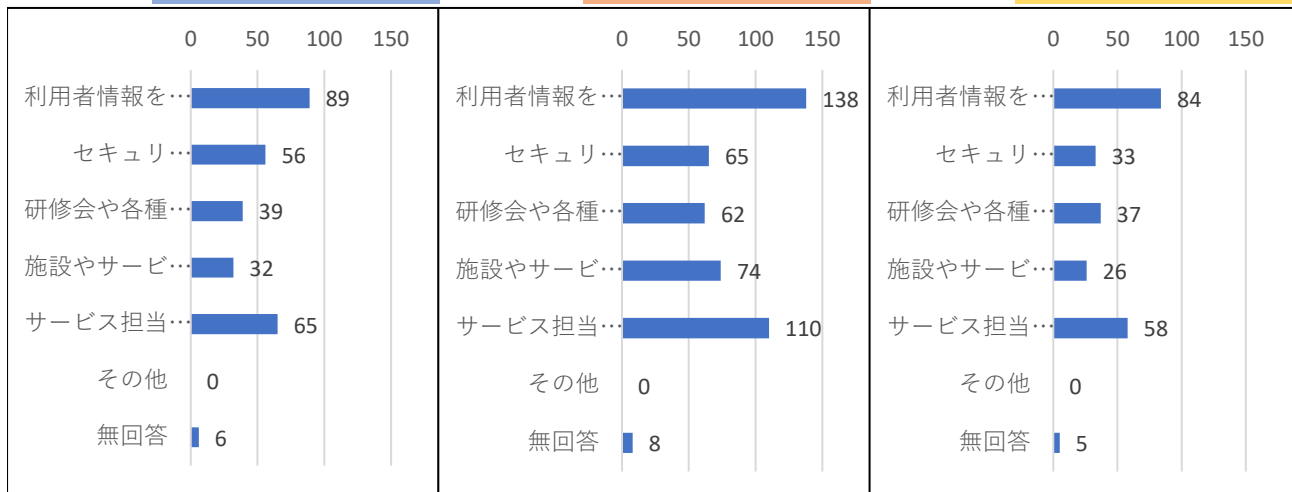
図表7



図表7-1 東部（127人）

図表7-2 中部（213人）

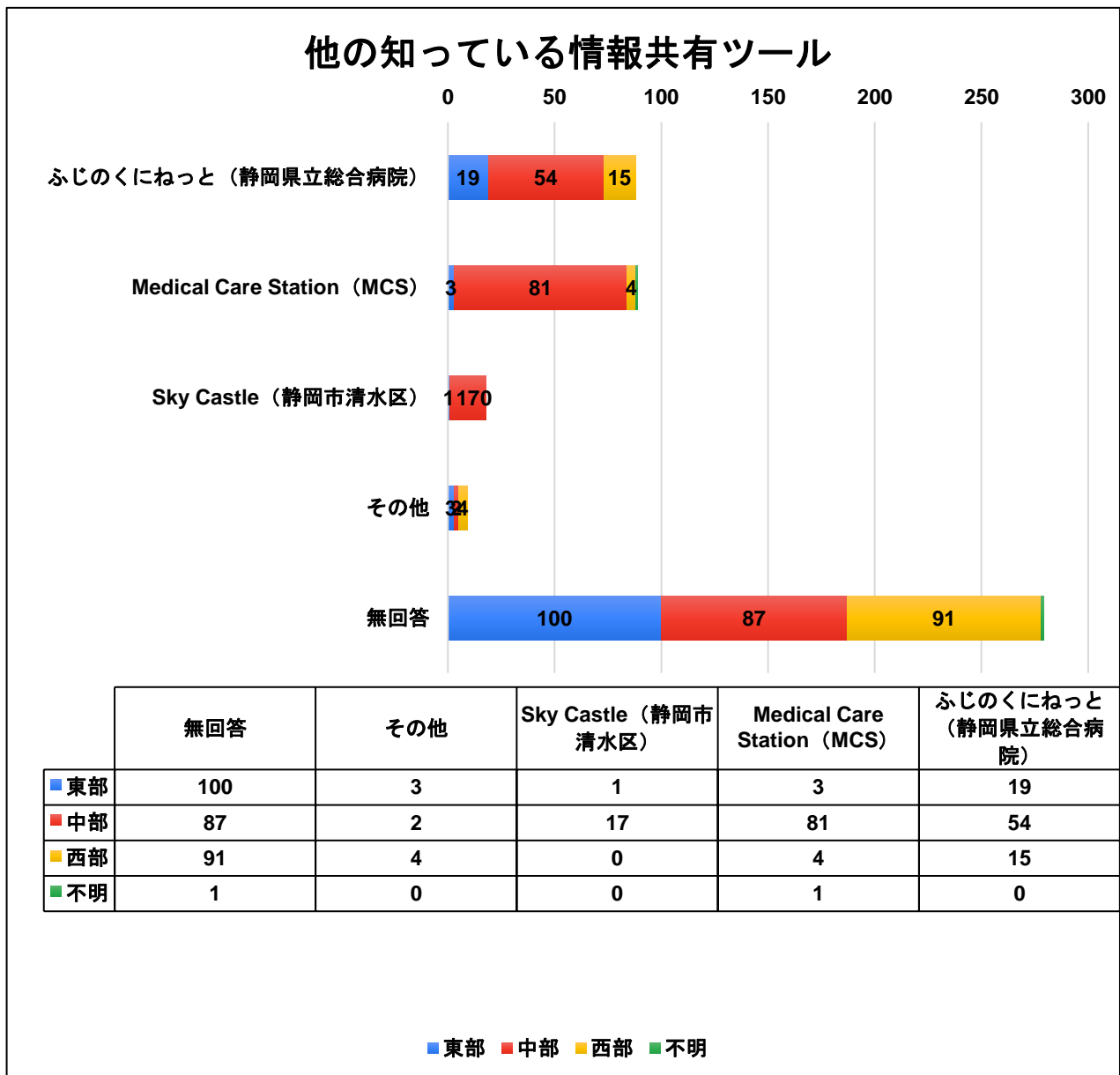
図表7-3 西部（113人）



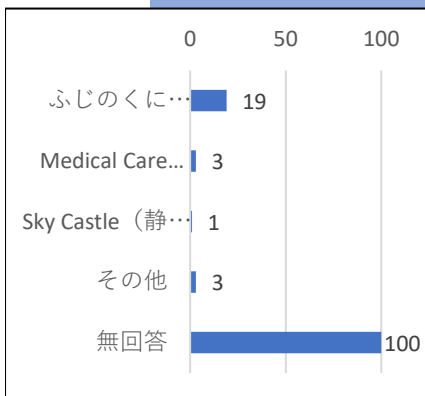
●活用している（したい）機能では利用者情報を共有するシステム（312）が一番多く、次いでサービス担当者会議ができる「ビデオ会議システム」（154）が多い（図表7）。

8 他の知っている情報共有ツールを教えてください (複数回答・457人)

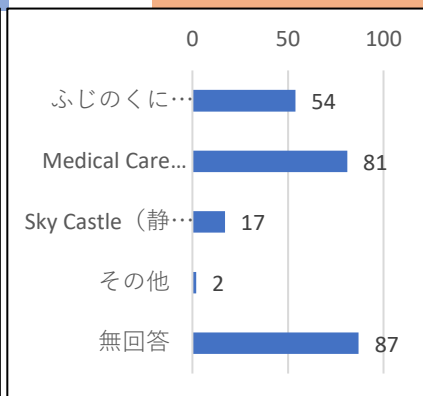
図表8



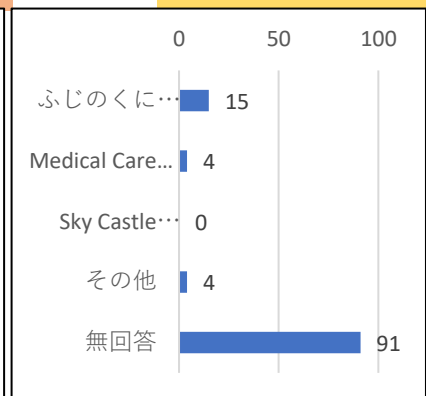
図表8-1 東部 (127人)



図表8-2 中部 (213人)



図表8-3 西部 (113人)



●他の知っている情報共有ツールでは、無回答 (278) が突出して多い (図表8)。

●中部では、Medical Care Station(MCS)(81)を知っている人が、他地域と比べて多い (図表8-1, 図表8-2, 図表8-3)。

9 普及するための改善点があれば教えてください	
東部	必要性を感じていない。利便性のイメージが伝わっていない。
東部	そもそも医療機関の発信なのでCMが利用したい目的になっていない。手続き（同意など）の手続きが手間。町医者にはこの機能や必要性が全く伝わっていない。
東部	会費・ID変更の期間が短い
東部	患者・利用者情報共有システムは、主治医がいなくてもサービス事業所だけでも利用できるようにしてほしい（病院を選択しないシステム等）。もし難しければ、未登録の病院については、同意書の扱いを患者と代理人のみだけにしてほしい（主治医の欄は空欄で可にするなど）。
東部	運用手段（申請等）の拡充
東部	各事業所への周知と、利用の便利さが伝われば良いと思います
東部	パスワードの更新について簡素化
東部	もっと医師会の会員を増やす必要がある。また、医師会主導ではなく、介護支援専門員連絡会が主導で動いても良いと思われる。
東部	診療所の登録がもっとあると良いと思う。ITに弱い事業所が多いので、レクチャーの充実と簡単な使い方が必要と思います。
東部	各保険者からの情報、書式などまとめてみられるといいと思う。
東部	登録をしている事業所が少ないので普及が必要
東部	まずはツールを使える環境、練習、体験を積む。使用料等の金銭面でバックアップもあればなお取り入れやすいと思います。
東部	利用する対象者が限られる。
東部	現在の普及率や使用頻度、使用場面の事例等の情報があれば教えてください。
東部	かなり活用していますが、ログインが辛い。また、20分無操作の場合の再ログインが辛い。ヘルパーやデイの介入がないので、先生とのやりとり一本となってしまう。電話やFAXがタイムリーでわざわざPCやタブを操作して内容確認だと、医師や動き回っている看護師には通用しない。事務へ電話か、FAXを希望される。動画を送ったりできれば、このコロナの中で、用具の選定や施設照会や内覧会や、もっと状況共有ツールとして役立つと思います。実績を送ったり、ほのぼのやカイポケやワイズマンなどの連携が摂れないので、いちいちPDFにしたり、またスキャンして取り込むなどして、添付する方法も結構しんどいです。プランチェックなどを行えるのはかなり現場への時間短縮となり画期的。
東部	医療機関との連携ができていところが限られているので、総合病院等でもう少し活用して頂けると連携が尚図れると思います。
東部	実際に使用できる事業所が増えないと普及には至らないと思います。また、登録されていても利用していない事業所もあるので使用しにくい面もあります。医療機関から発信されると利用しやすいと思いました。また、無料利用期間を設け全居宅と病院関係に入っただけだと良いのかと思いました
東部	利用者情報をタイムリーに共有することが出来るアピール
東部	行政補助金等の協力
東部	利用料の無料化、医療・介護関係なく各事業所（デイ・ショート等）が利用できるようになる
東部	タブの貸し出し、病院の窓口となる部署（連携室等）への普及を広める、行政と書面のやり取りができるようになる
東部	地域での積極的な説明会をして登録をしてもらえるようにする
東部	登録を解除してしまった側が言うのも厳しいですが、料金負担がある上での使用機会が少ないと中々継続できない。
東部	実際に利用したことがないが、全介護事業所、病院等が登録している状態で情報共有ができる状態であれば利用しやすいとは思いますが。
東部	普段連携する機会が多い病院・訪問看護ステーション・事業所等が登録していただければ、今後のツールに活用させていただきます。
東部	活用される医療機関や事業所が増えることが望めます
東部	使用方法の勉強会を開催。
東部	カルテ情報を抜きにしても訪問看護やヘルパーとの利用者単位でのルームが作成できると便利と思う。
東部	介護保険の事業所が多く参加できると情報の共有に役立つと思います。
東部	地域で使用するシステムの共通化
東部	セキュリティの問題があり、難しいとは思いますが、登録や変更手続きを行っても、うまくいかない。パソコンのセキュリティソフトのせいか、起動することができない。もう少し、登録や変更等がスムーズにいくとよい。

東部	主治医が変わったり他科受診をしている方がおり、主治医主催では始めにくい。関係者が情報を共有したり、担当者会議や医療連携が長期的に続けられるようにできると良いと感じる。
東部	色々な介護ソフトとも連携できるようにすれば同じ作業を何回もしなくて良いので使いやすくなる。
東部	医師の理解や許可が必要な為、啓発やシステムに入りやすく、入力をもっと簡単にできるように改善できると良いと思います。
東部	今のところ一人ケアマネでパソコンが不得手だけれど、一人でも負担を感じずに活用できたら助かる。
東部	セキュリティがしっかりしている点についてはとても良いが、その分開くまでに多少時間がかかる。
東部	情報共有ツールの詳細とメリットの周知が必要です。
東部	管理者はいち雇われ従業員でしかないため、法人への理解を求めてほしい。市でどれだけの事業所が使っていて、使わないことのデメリットを法人に伝えてほしい。zoomのように半強制的に研修などで使うようになれば（必要不可欠）導入してもらえらるかも。
東部	まずは周知。繰り返し利便性などを訴え、敷居を低くしてもらいたい。皆がやらなければあまり意味のないものになってしまう。
東部	無料の試し期間の設定
東部	有料のこのシステムを利用して業務に役立っているという事業所をあまり聞くことがありません。医療機関、各事業所の双方が声を合わせてこれを使っていこうという仕組みが欲しいです。PCやタブレットを各事業所に無償で貸与するとか、キャンペーンが必要かもしれません。
東部	登録などの手続きが煩雑
東部	無料
東部	①当事業所は、数台の登録があるので、セキュアメールが事業所単位で送られてくると、各PCでメールを開かないと既読にならず不便。②利用している機関が増えれば登録者も増えるかもしれない。当市町村では、包括と居宅の予防プランの実績やケアプランの確認などのやり取りにセキュアメールを利用し、登録も少しずつ増えてきている。
東部	金額を安くする
東部	東部ではまだまだ利用されていません。利用方法・活用に伴う利点などを伝えていかないとと思います。ネットの有効利用をもっと進めることで専門職の負担が減ることを知ってもらうことが必要だと思います。
東部	医師の参加が増えるとありがたいです。
東部	利用登録などもっと簡単にできればいいと思います。
東部	研修会やウェブサイトを活用すると良いと思います。
東部	地域での登録事業所が少なく居宅介護支援事業所だけでなくサービス事業所にも登録いただき利用者情報を共有できるといい

9 普及するための改善点があれば教えてください	
中部	・何をすることもコロナの収束が第一です。ICTの推進は不可欠ですが、まだ環境が整わない部分も多いです。
中部	・登録事業所が少ない。・登録していても主治医からの呼びかけがなく利用につながらない。
中部	MCSで共有出来、助かっています。
中部	MCSは登録の手間なく無料で気軽に使用出来た。
中部	お金がかからない
中部	お金を取らない。
中部	ケアマネの研修会に参加をしてアピールする
中部	ケアマネは全事業所入り、医師もそれに追隨していただかないと、難しいのでは。MCSは、情報共有は簡単です。
中部	セキュリティを高くして利用をするのはわかりますが、縛りが多いと利用を躊躇してしまいます。簡単に誰もが参加できるような仕組みならいい。メディカルケアを検討中です。
中部	そのツールの必要性がよく分かっていない
中部	タブレットとフリーWi-Fiの支給、無料化、開業医からの発信等。
中部	もっと多くの事業所の参加が必要、システムの更新作業が面倒
中部	わからない
中部	医師が先導して利用してくださる事
中部	医師の参加
中部	医師会の理解と協力、利用料の無料化
中部	医者に勧められれば、使いにくくてもやります。
中部	医療・介護の利用される方の賛同を得るためにメリットとなることの周知と理解を得ることが必要
中部	医療がどれくらい登録されているのか知りたい
中部	医療機関の活用が進めば、ケアマネジャーは利用していくと思います。機器登録等使用方法の簡単なマニュアルをHP等で閲覧できる。使用方法の相談窓口があればありがたいです。
中部	医療機関関係の連携が主と感じているが、他の共有ツールでの連携では医療的な状況や情報をケアマネも知る事が出来て方向性を同じにして支援出来て行くと感じています。居宅介護支援事業所への再度の説明・アプローチを望みます。
中部	何かにつけ使ってみる事。
中部	介護サービス事業所や医療機関の加入者が増えて繋がるとより便利で使いやすくなります。
中部	会社への必要性の働きかけが無いとシステムが整いません
中部	活用しているのは事業所で一人だけです。他のものは私用方法はわかりません。医師側から普及していただければやってみたいと思います。
中部	患者情報の入力簡素化・入力方法の研修
中部	居宅の事業者や病院以外の事業所の登録があればいいと思う。
中部	決められたツールのみでなく、自分のスマホ等でも利用できればいい。
中部	研修会等での活用方法の周知をお願いします。
中部	研修等の情報を頂き試しに参加してみたい
中部	個人情報扱うので、システムの概要を詳しく知りたい
中部	個別対応をしていただければ、利用ができると思います。
中部	更なるシステムの周知と活用事例の紹介
中部	更新の手間を考えるとほしい、多くの事業所の利用
中部	行政のシステムと連動した大きなプラットフォームに育てる。情報開示はこのシステムを使わないと申請できないといった位にしないと普及は難しい。
中部	最近知ったばかりでまだ理解できていない
中部	災害時の情報共有に利用することは可能でしょうか？
中部	使用する習慣や、使用の無料化
中部	使用料を無料にする。IDの入力を楽にする。
中部	実際に利用してみる研修等の実施してほしい
中部	実施例等見える化されると分かりやすく身近に感じられる

中部	主治医からのお誘いがないと利用できない？実際には1ケースしか使っていない。介護保険事業所の登録が多ければ、情報共有に有効に使用できるが、利用していない事業所が多く、結局電話やFAXで連絡のため二度手間になる。利用に料金が発生するため、すべての事業所が入るのは難しいと思う。
中部	主治医が知らない場合がある。
中部	主治医含め、登録事業所の拡大
中部	周知。
中部	周知の説明会を開いて欲しい。zoomでお願いしたい。メリット、デメリットを知りたい。
中部	周知活動
中部	駿河区の医師より勧めがあれば使います
中部	情報共有や連携が取れて初めて活用性が高まるがその認識が薄い
中部	全ての事業所が加入していないと意味がないのでは。金額も高い。
中部	操作が簡単で分かり易くしてほしい。
中部	総合病院の主治医との連携のために使えるとありがたいです。
中部	総合病院の先生に使っていただければ。
中部	知らない人への情報提供、分かりやすい使用方法
中部	登録・活用が実感できる機会。行政補助等による利用料の引き下げ。
中部	登録のシステムが非常に面倒
中部	登録を気楽にできると良い。管理の簡易さも求められる。
中部	認知度が低い。他が加入していないため活用しにくい。
中部	年間の費用の割に使用頻度がないので費用面も検討が必要かと思います。
中部	費用負担の軽減
中部	普及活動をお願いします 利用例
中部	法人の上層部に必要性などを伝えてほしいです
中部	訪問診療医師が使用しているか
中部	無料ツールにする
中部	無料なら使いたいと思います。
中部	無料化
中部	無料化 活用法の周知
中部	有料と聞いています。医療連携の為なら無料のネットワークもあるのでなかなかなかなかやってみようとはなりません。医療側から声をかけられたらかけられたらやってみようかと思っています。
中部	利用したことがないためわからない
中部	利用者主治医の意向が、ない
中部	利用者様の情報共有に役立てています。同事業所に声掛けをしてはいるように声掛けをしています。利用者が使っているサービス事業所を巻き込んでいければと思っています。
中部	利用登録している事業所が増え活用できる相手先が増えなければメリットが感じられないので、活用できている地域の例を広く紹介するなどして周知していく。
中部	利用料の価格に比べて 業務改善・効果にメリットを感じない。事業者間同士での情報交換もしたいが その相手がいっていない。主治医から この利用者についてつかって情報交換しましょうなどインセンティブがあればもっと普及するとおもう。
中部	料金が安い
中部	料金や活用方法等を、明確に周知していただければ、考えると思う。

9 普及するための改善点があれば教えてください	
西部	現状のZOOM会議でもよいと考えている。しずけあかけはしは、医療サイドでの情報共有になっている。
西部	行政主導で積極的に利用。登録事業所とは書類のやり取りをセキュアメールで行うなど。
西部	主治医が利用していない場合があるため、医師以外にも利用者登録ができると情報共有が円滑にでき利用が広がる。
西部	主治医への相談情報などがシズケアを用いても法的根拠になるといい。全体を一括で見られない、見にくい。あくまで無料で使えるようにしてほしい。
西部	主治医次第
西部	周知をもっと進めてほしい。すでに登録しているが、利用する場面がなく使用方法も忘れてしまった。改めて研修を行い、使用方法を教えてください。せっかくのシステムをうまく活用できるように進めていただきたいです。
西部	情報共有ツールについて知らないケアマネもいると思うので、こういうツールがある事を事業所へ広告等で知らせる必要があると思います。
西部	色々な事業所に宣伝して欲しい。
西部	西部地区の事業所です。西部地区には広報されていない気がします。
西部	他の団体等の協力アピール
西部	登録しているも、シズケアを活用するより電話やFAXの方がやり取りが早い。病院、介護事業所が率先して使うツールになっていない。シズケアに登録していなくても困らない現状はある。救急時の対応に病院、救急隊、ケアマネなどが情報を確認できるようにするなど。現状では、訪問診療の利用者様のみの情報を共有している状況。利用頻度が少ない中での利用料金についても導入を悩まれるのではと思われる。
西部	登録事業所が少ないので、使いたくても使えない場面が多い。訪問看護は登録している事業所が多いが、それ以外は全くなので登録してほしい。
西部	働き方改革が言われている中、業務量が増えると活用が難しくなると思います。業務の効率化や軽減に繋がれば導入していきたいと思います。よろしくをお願いします。
西部	導入のしやすさ（手続き面）
西部	普及率が上がる事
西部	無料であれば
西部	様々なサービス事業所へ積極的にPR、利用料金の検討
西部	利用していないので、どう普及していったらいいかわからない
西部	利用していないのでわかりません
西部	利用開始し始めたばかりなのですがあまり活用できていません。以前チャットで情報共有していたのですが訪問時の様子を伝えたり訪問看護からの情報を受け取りやすく、医師からの返事も来て時間的にもよかったです。シズケアも同じように考えていましたが使いこなせていないのかどう活用できるのか見えない状況です
西部	利用機会も無いし、年間12,000円は妥当か疑問。退院カンファも病院からZoonで対応との事でした。活用方法が分かりません。
西部	利用者本位ではなく、医療機関本位のシステムと感じます。利用者及びその家族が参加出来ないことと、月額利用料が1000円かかることがシェアが増えない主要な原因ではないかと思えます。自事業所でも利用していますが、金銭的な負担以外にも定期的なアップデート、システム更新など運用に伴う事務的な負担もあるので、他事業所に積極的に勧めていません。袋井では行政が無料で情報共有のためのノートを配布していて、家族もそれを利用していることが多いので、シズケアかけはしを平行して利用することで、情報が分散してしまう面もあると思います。
西部	利用料金が安ければと思う
西部	利用料金を安くしてほしい。

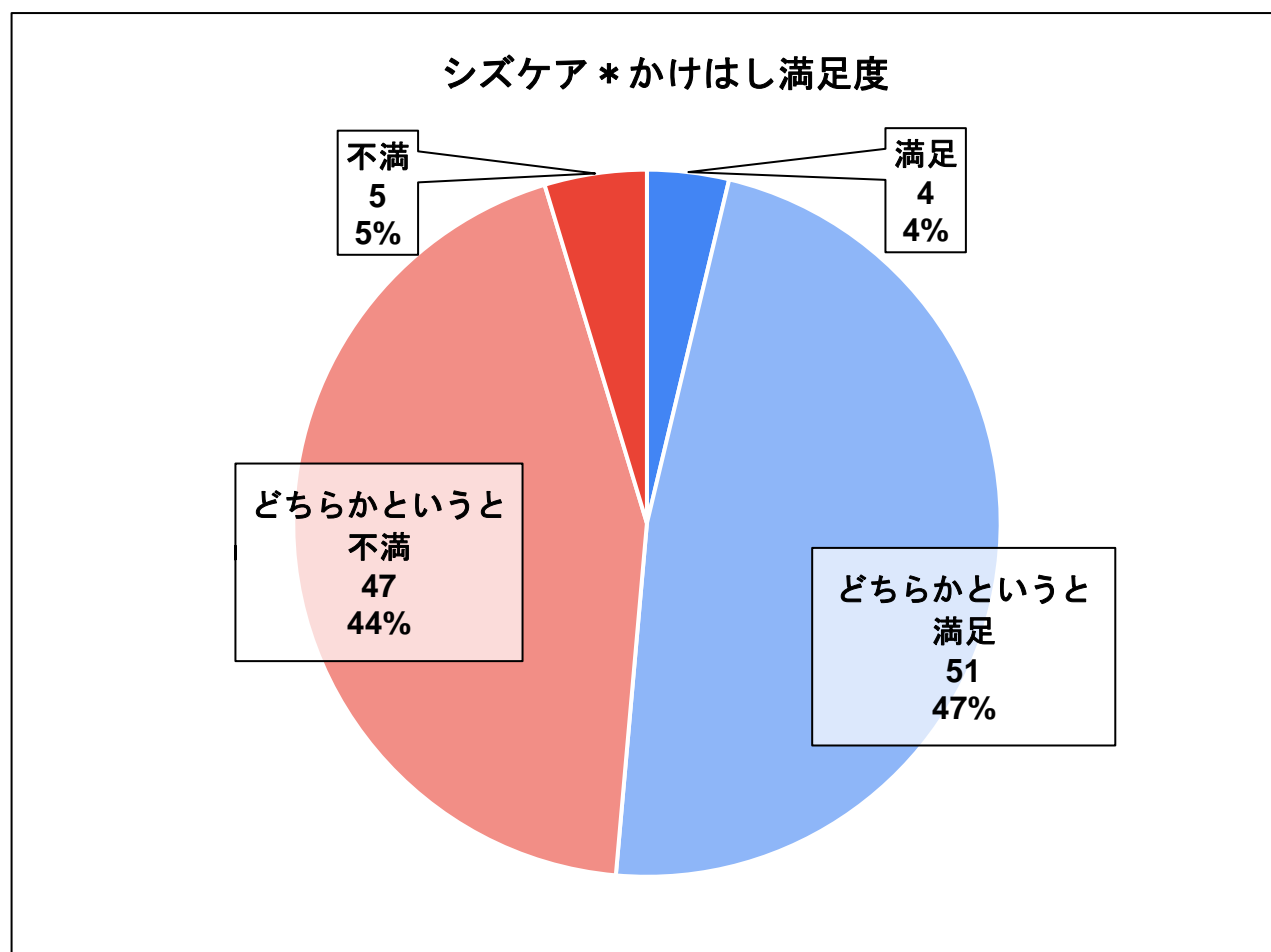
シズケア*かけはし「ユーザーアンケート」調査 結果報告

はじめに

- 実施期間は、令和3年8月23日～9月24日。
 - 登録事業所190ユーザーのうち、107事業所からの回答があった。回答率56.3%
 - 結果をまとめるにあたり
- ①最初に各質問毎の全体の結果を図表で表示した。
 - ②システム全体の満足度調査において、「満足」と「どちらかという満足」を「満足群」とし、「不満」と「どちらかという不満」を「不満足群」とした。各質問毎の全体の結果のあとに、その全体の結果を「満足群」と「不満足群」に分けた結果を参考として図表で表示した。
 - ③文書で記入する部分については、上記「満足群」「不満足群」の違いに加えて、「東部」「中部」「西部」の地域ごとの意見が把握できるように分類して表示した。

1 「シズケア*かけはし」全体の満足度は？ (107ユーザー)

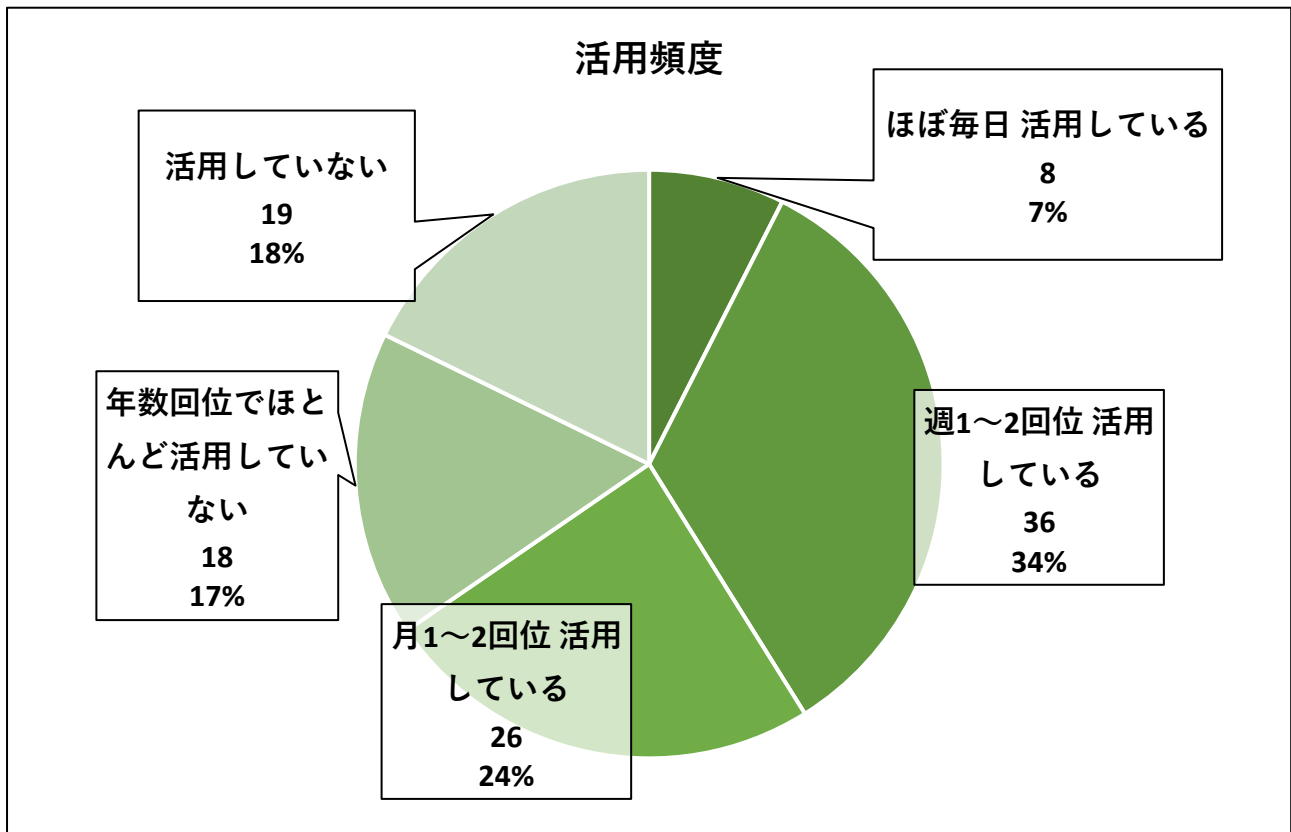
図表1



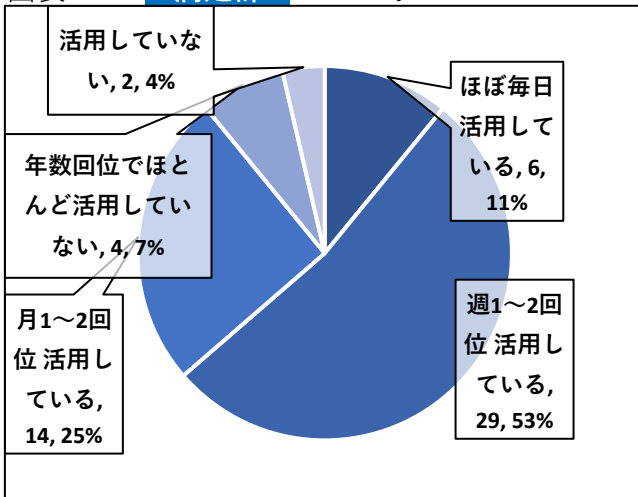
- 現在シズケア*かけはしに登録しているユーザーのうち、満足もしくはどちらかという満足のユーザー（以下、「満足群」）が51%、不満もしくはどちらかという不満のユーザー（以下、「不満足群」）が49%と、ほぼ拮抗する結果となった。

2 「シズケア*かけはし」の活用頻度は？ (107ユーザー)

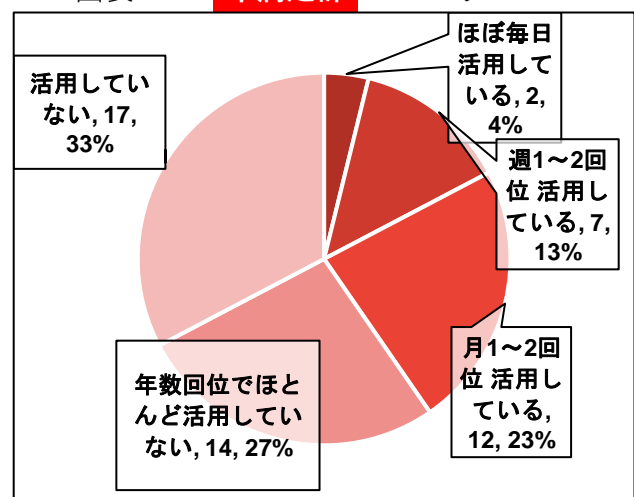
図表2



図表2-1 満足群 55ユーザー



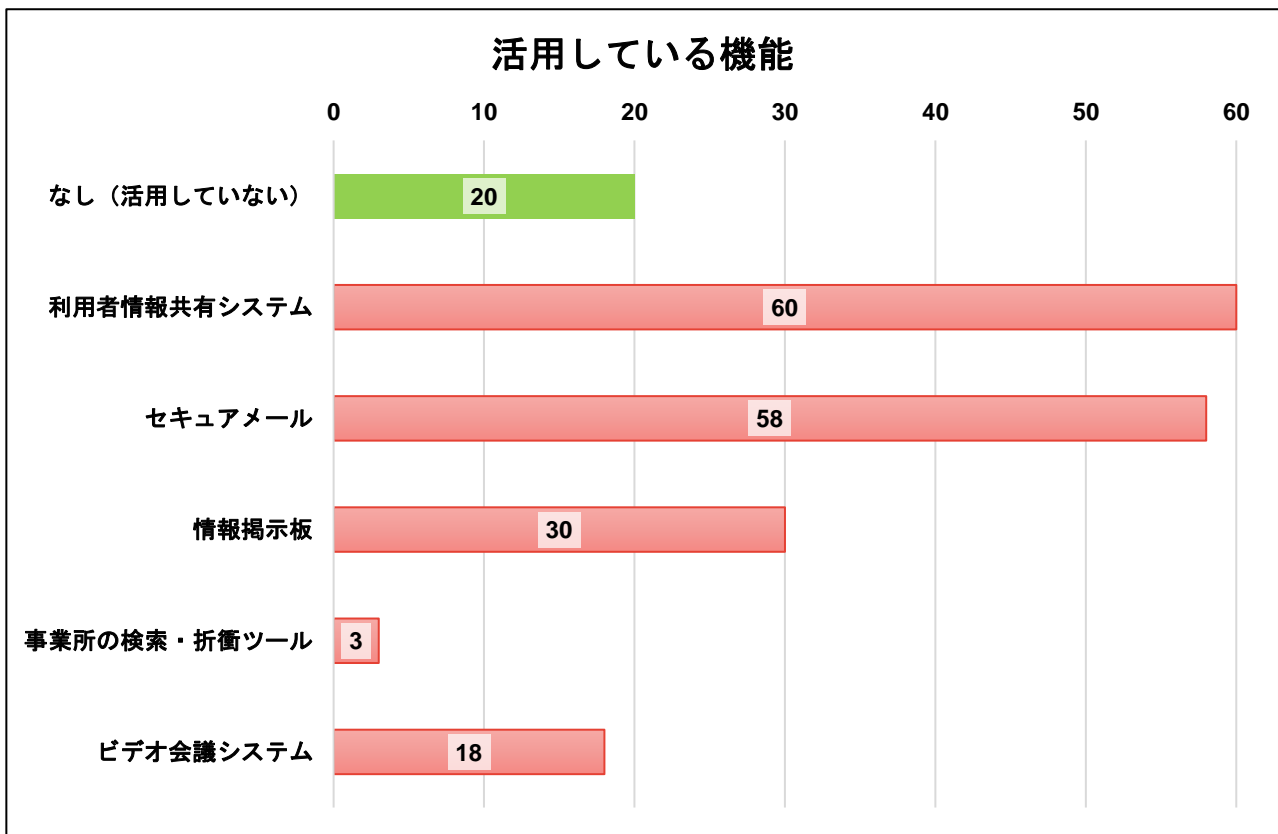
図表2-2 不満足群 52ユーザー



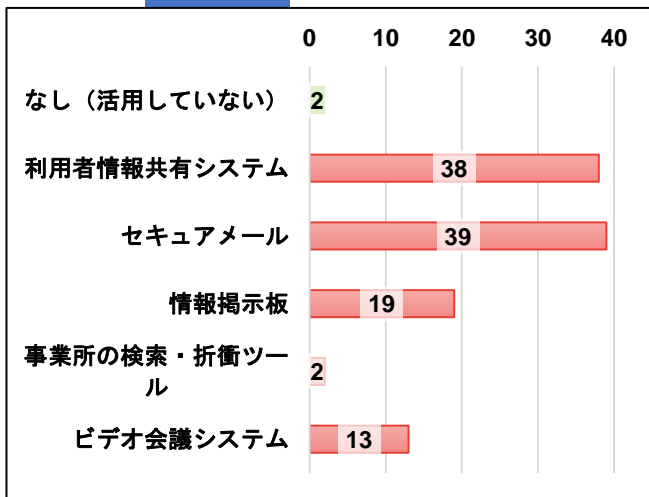
- 活用頻度は、全体として、週1~2回位 (34%) が一番多く、次いで月1~2回位 (24%) が多い (図表2)。
- 満足群は、週1~2回位 (53%) が一番多い (図表2-1)。
- 不満足群は、活用していない (33%) が一番多く、次いで年数回位 (27%) が多い。 (図表2-2)。
- 活用頻度が高いほど、システムに満足しているユーザーが多いと考えられる。

3 活用している機能は？（複数回答・107ユーザー）

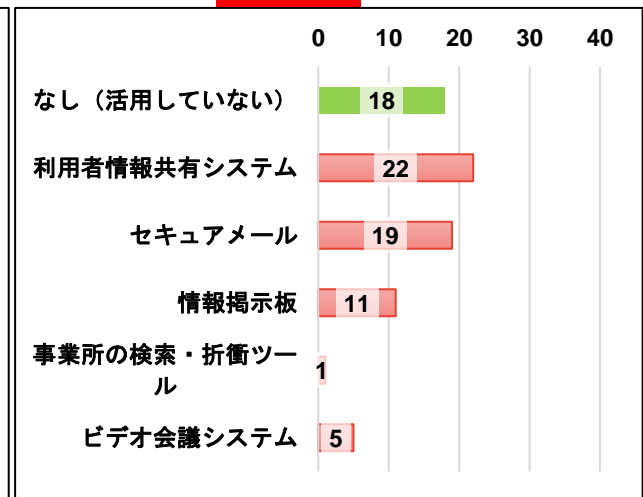
図表3



図表3-1 満足群 55ユーザー



図表3-2 不満足群 52ユーザー

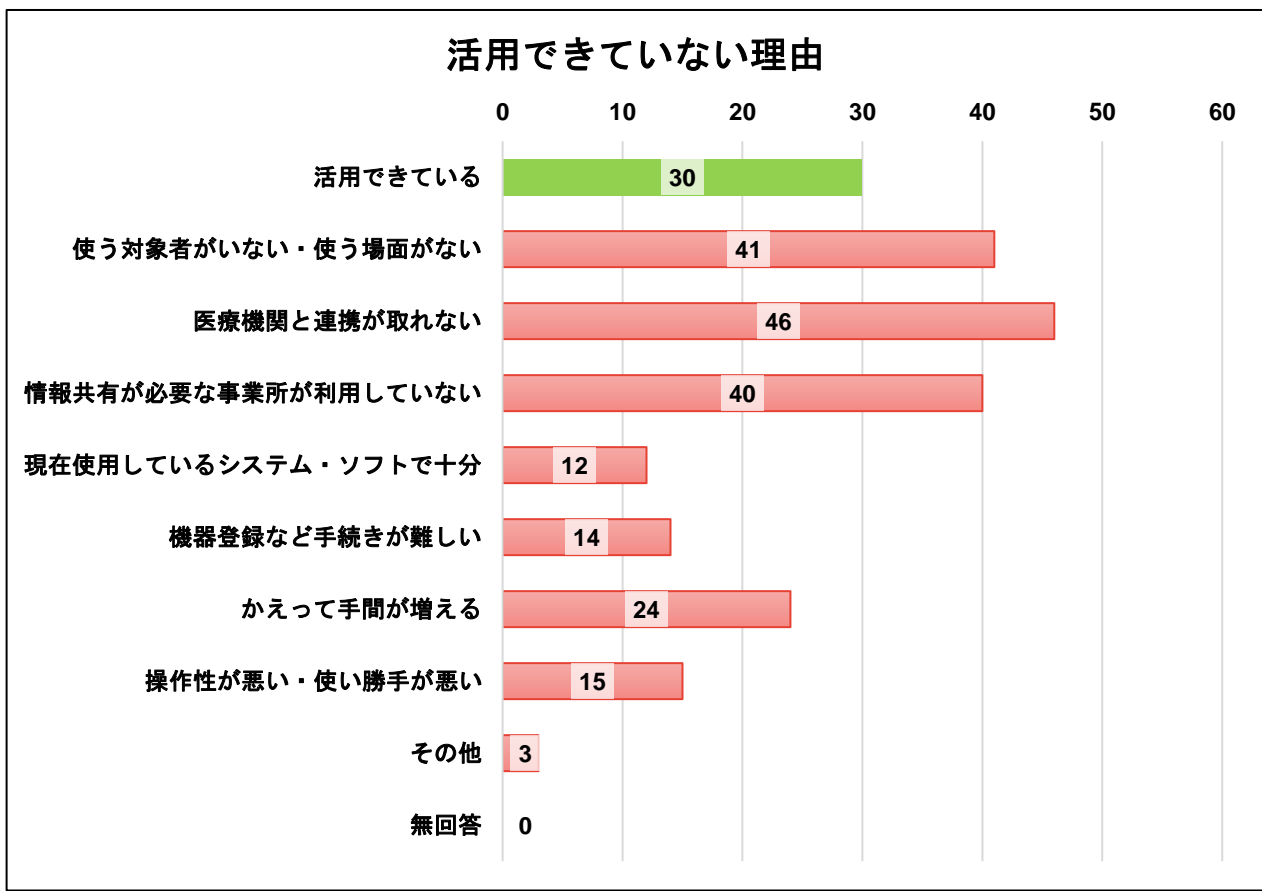


●活用している機能は、利用者情報システム（60）とセキュアメール（58）の2つが多い。事業所の検索・折衝ツール（3）はほとんど活用されていない（図表3）。

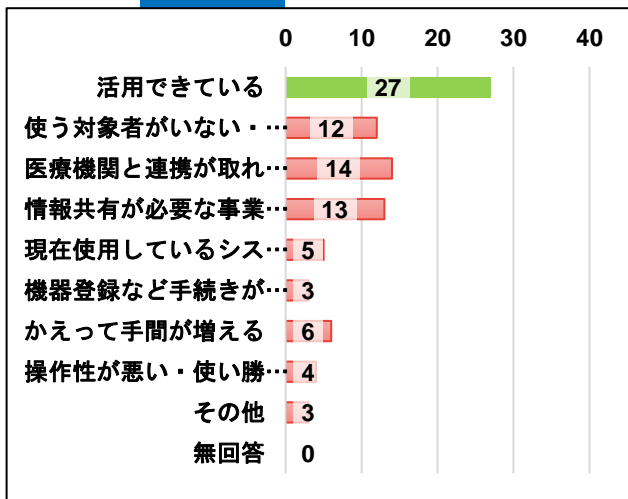
●満足群では、活用数が総じて多い。ただし内容は、満足群と不満足群の差はほとんどない（図表3-1, 3-2）。

4 活用していない場合の理由は？（複数回答・107ユーザー）

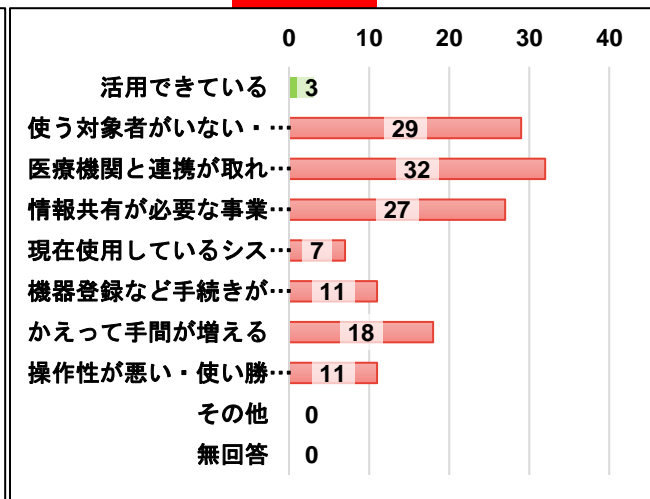
図表4



図表4-1 満足群 55ユーザー



図表4-2 不満足群 52ユーザー



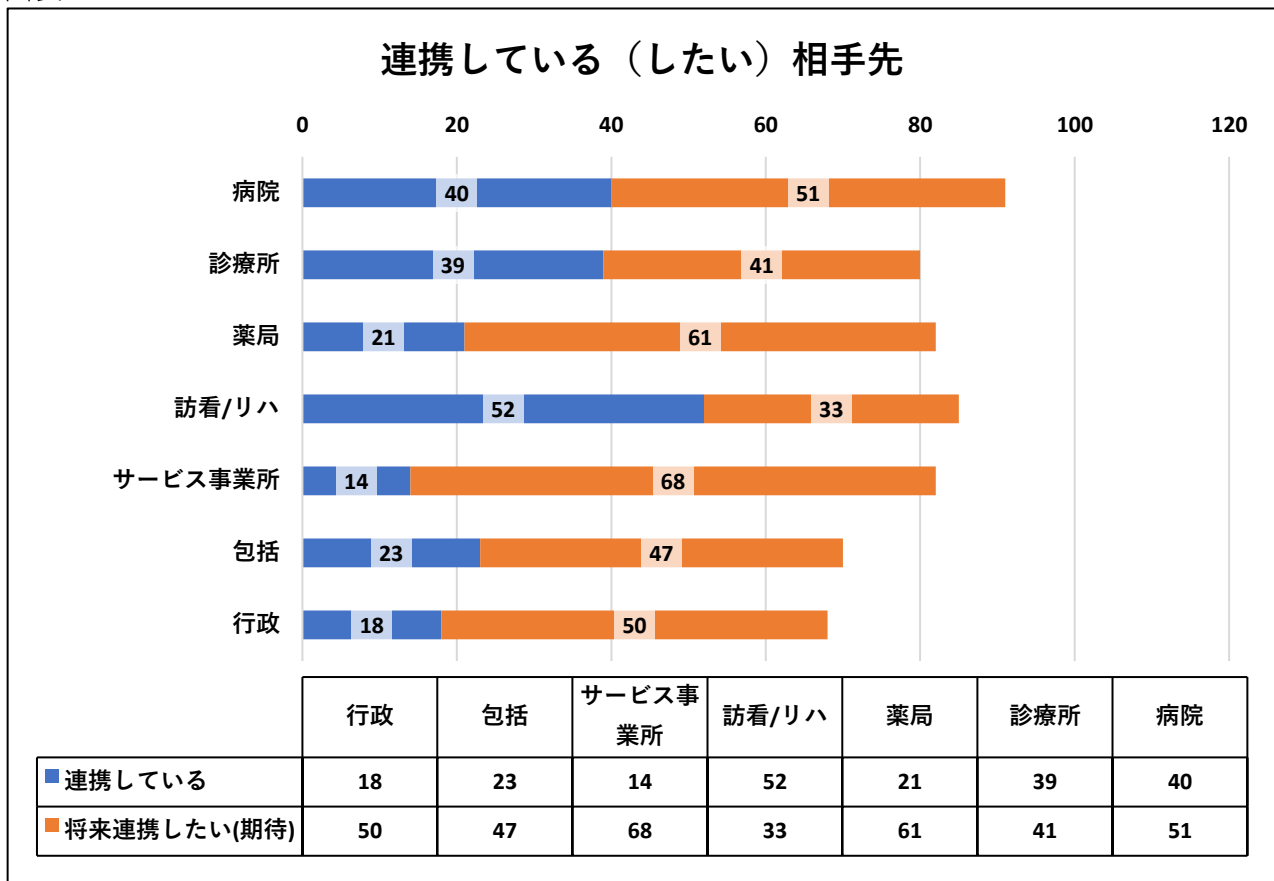
●活用できていない理由としては、医療機関と連携が取れない（46）、使う対象者がいない・使う場がない（41）、情報共有が必要な事業所が登録していない（40）の3つが他と比較して多い（図表4）。

●満足群の理由においても上記3つの理由が比較的多い（図表4-1）。

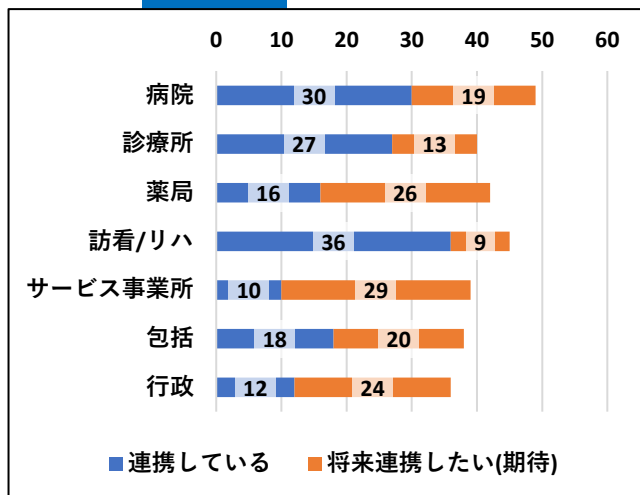
●不満足群の理由も上記3つが多い。加えて、かえって手間が増える（18）の理由も多い（図表4-2）。

5 このシステムで連携している（したい）相手先は？（複数回答・107ユーザー）

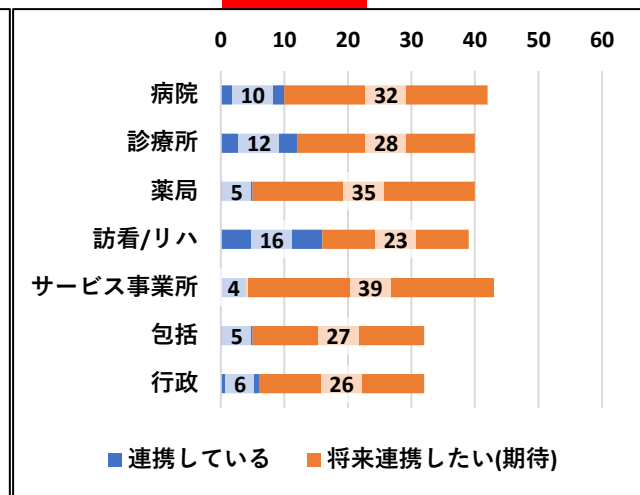
図表5



図表5-1 **満足群** 55ユーザー



図表5-2 **不満足群** 52ユーザー



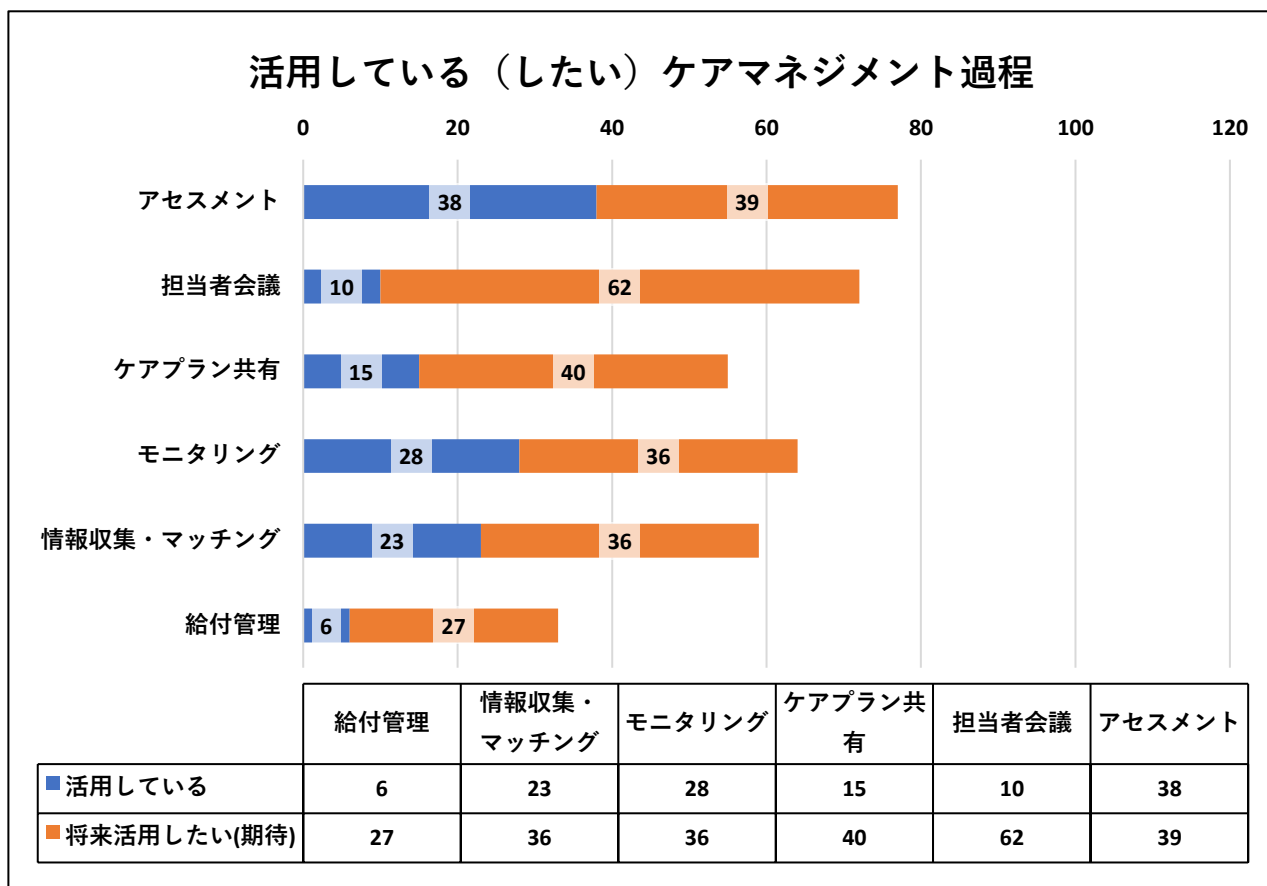
●連携している相手先は、訪看/リハ（52）が一番多く、続いて病院（40）、診療所（39）となっている。連携したい相手先としては、サービス事業所（68）、薬局（61）、病院（51）となっている（図表5）。

●満足群では、訪看/リハ（36）とかなり高い割合で連携している。病院（30）や診療所（27）とも高い割合で連携している。包括との連携（18）も比較的多い（図表5-1）。

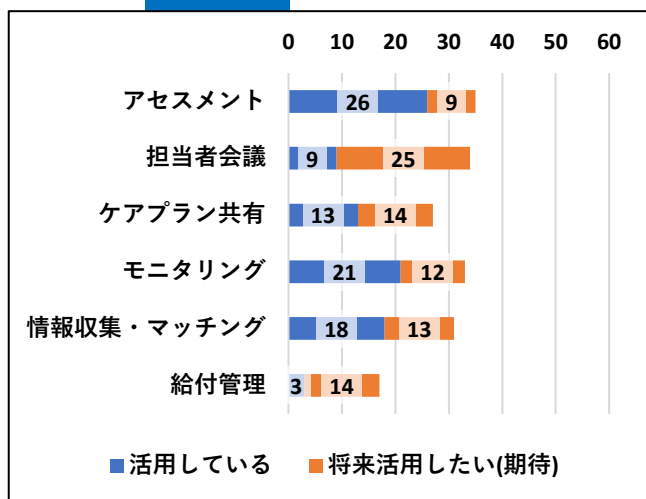
●不満足群では、総じて連携できていない。サービス事業所と連携したい（39）が比較的多い（図表5-2）。

6 活用している（したい）ケアマネジメント過程の場面は？（複数回答・107ユーザー）

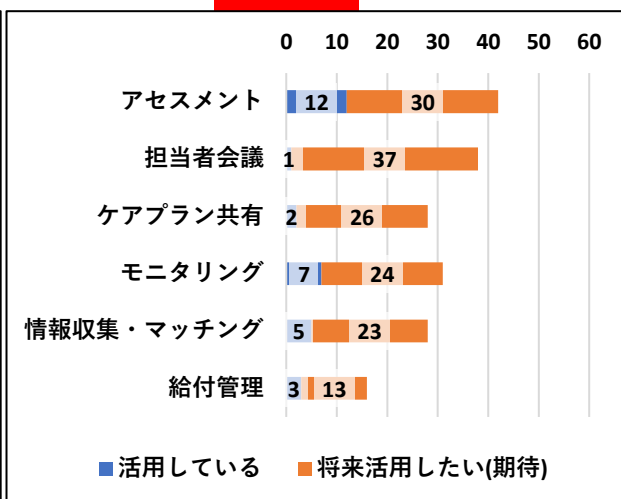
図表6



図表6-1 **満足群** 55ユーザー



図表6-2 **不満足群** 52ユーザー



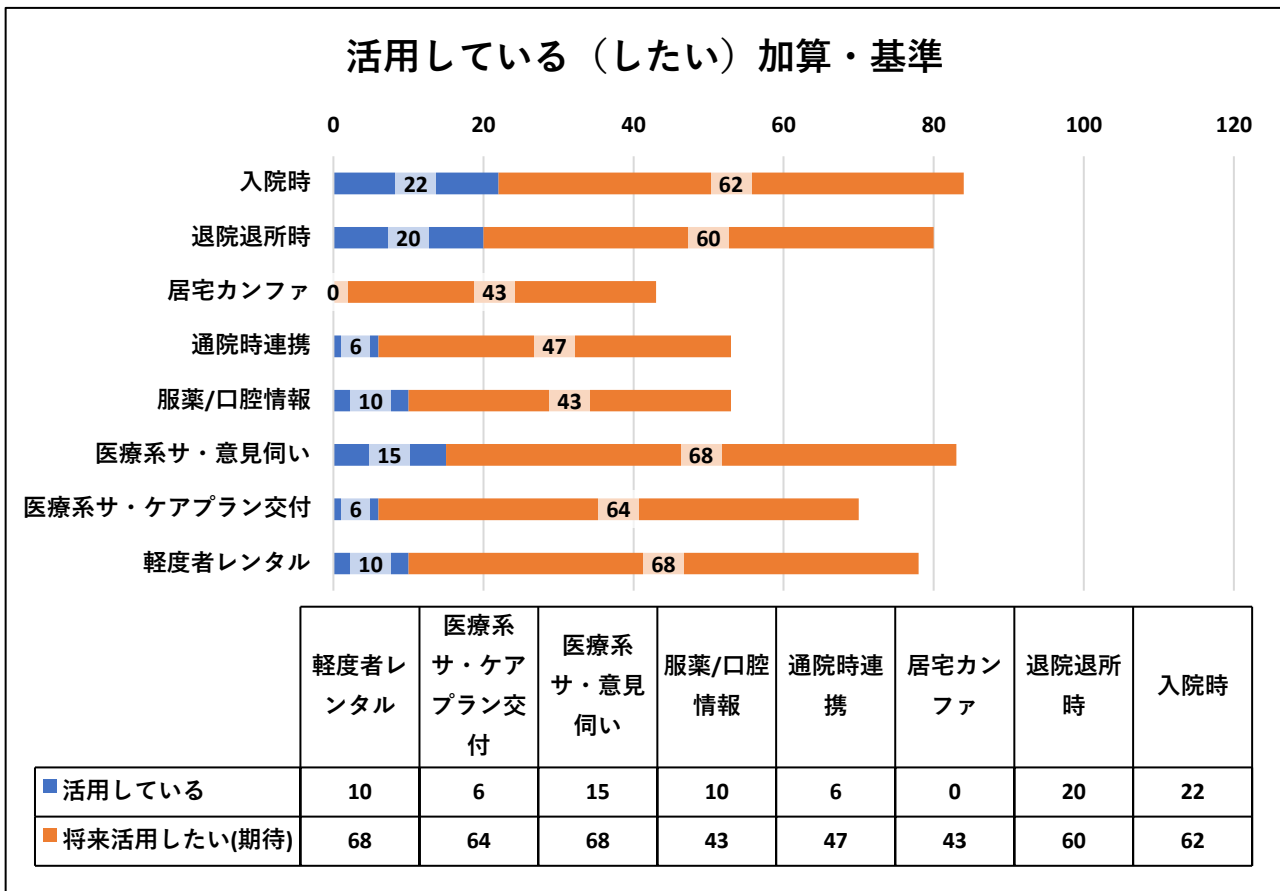
● 実際活用しているケアマネジメント過程は、アセスメント場面（38）が一番多い。次いでモニタリング（28）、情報収集・マッチング（23）となっている。将来活用したい場面としては、担当者会議（62）が比較的多い（図表6）。

● 満足群では、活用できている場面として、アセスメント、モニタリング、情報収集・マッチングが均等に多い。将来的には、担当者会議で活用したいが多い（図表6-1）。

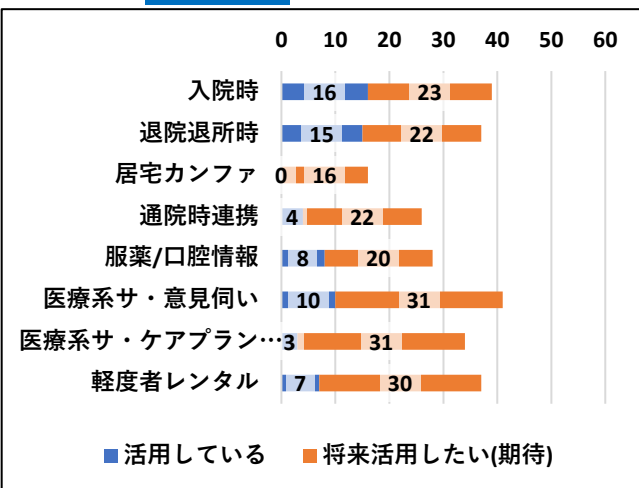
● 不満足群では、活用できている場面は総じて低い。将来的には、担当者会議、アセスメントで活用したいが多い（図表6-2）。

7 活用している（したい）加算・基準は？（複数回答・107ユーザー）

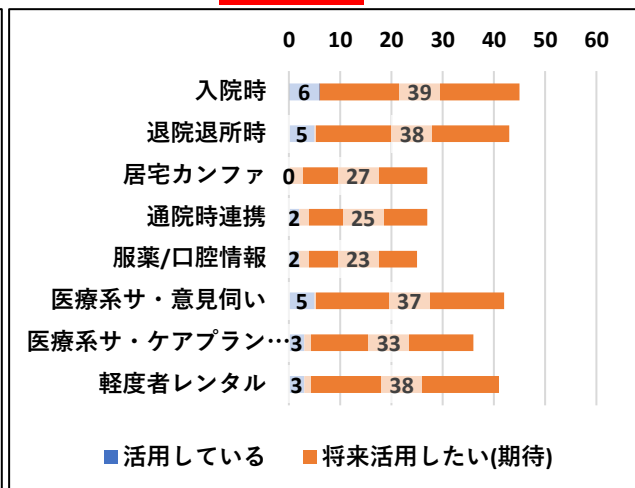
図表7



図表7-1 満足群 55ユーザー



図表7-2 不満足群 52ユーザー



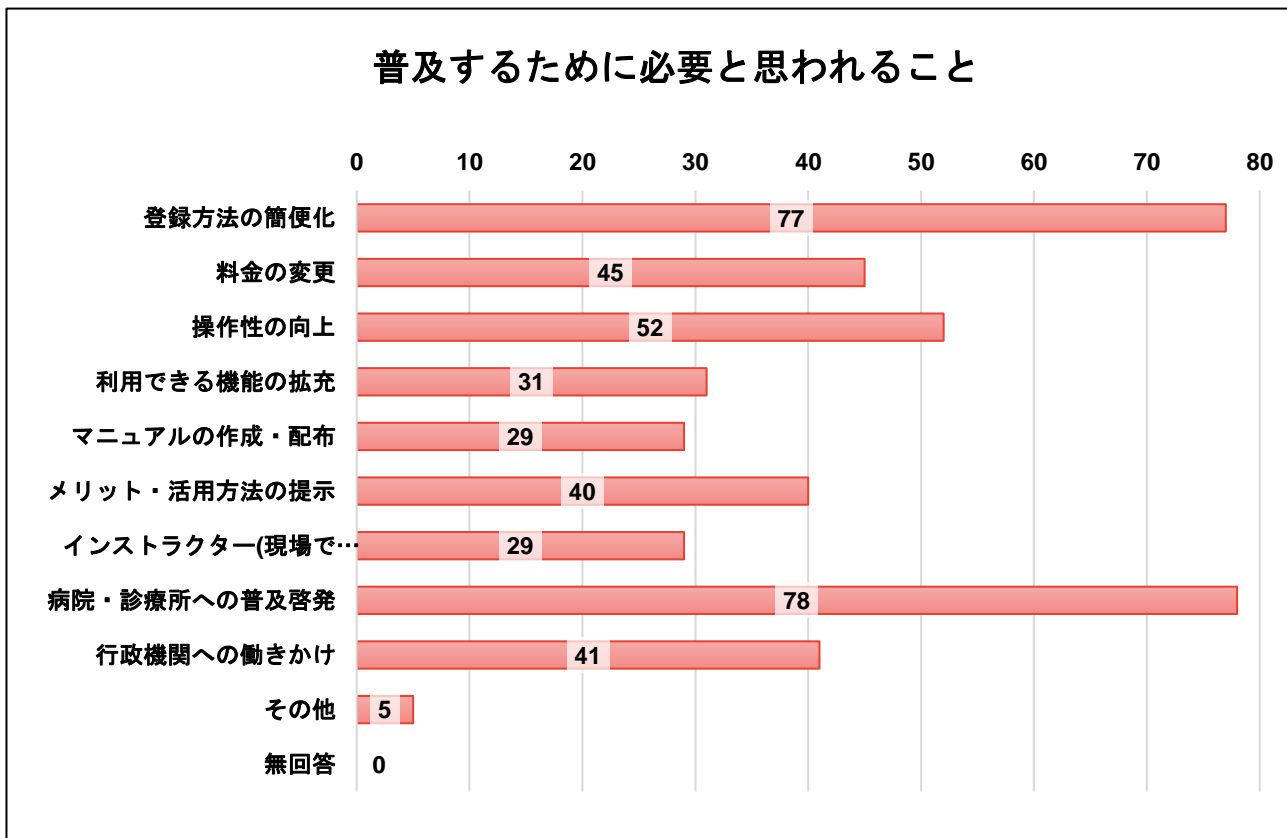
● 実際活用している加算や基準の場面は、入院時連携（22）、退院退所連携（20）が多い。次いで医療系サービス利用の意見伺いの場面（15）が多い。将来的には、医療系サービス利用の意見伺い（68）/軽度者レンタル（68）/ケアプラン交付（64）など医療機関との連携部分が多い（図表7）。

● 満足群では、全体とほぼ同じ傾向（図表7-1）。

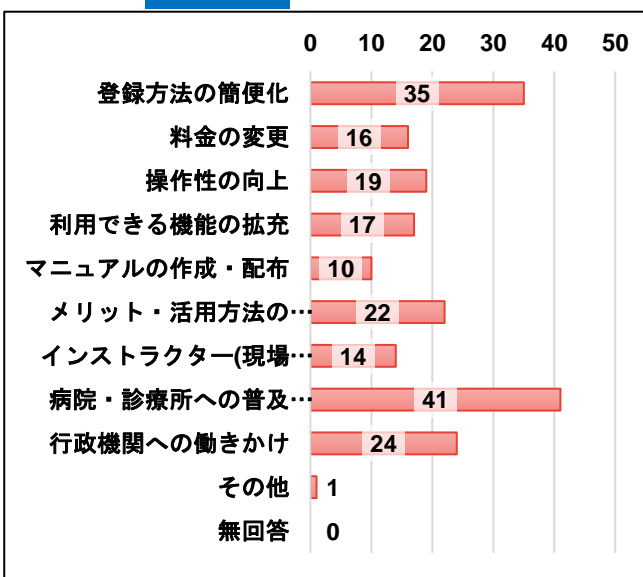
● 不満足群では、全ての項目で総じて活用できていない（図表7-2）。

8 普及するために必要と思われることは何ですか？（複数回答・107ユーザー）

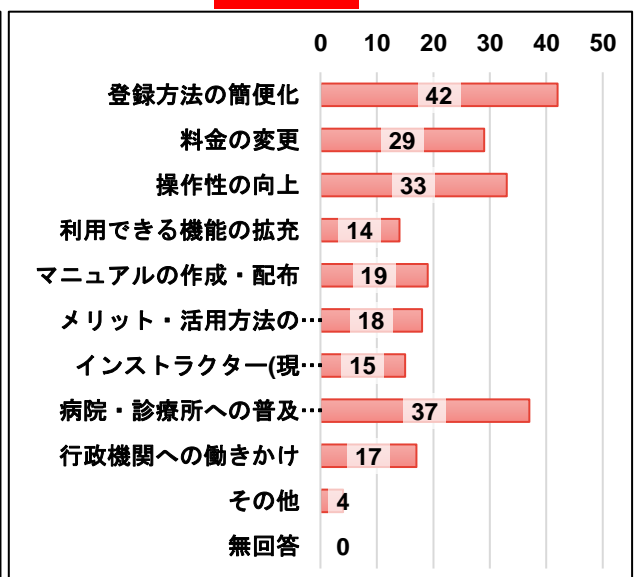
図表8



図表8-1 満足群 55ユーザー



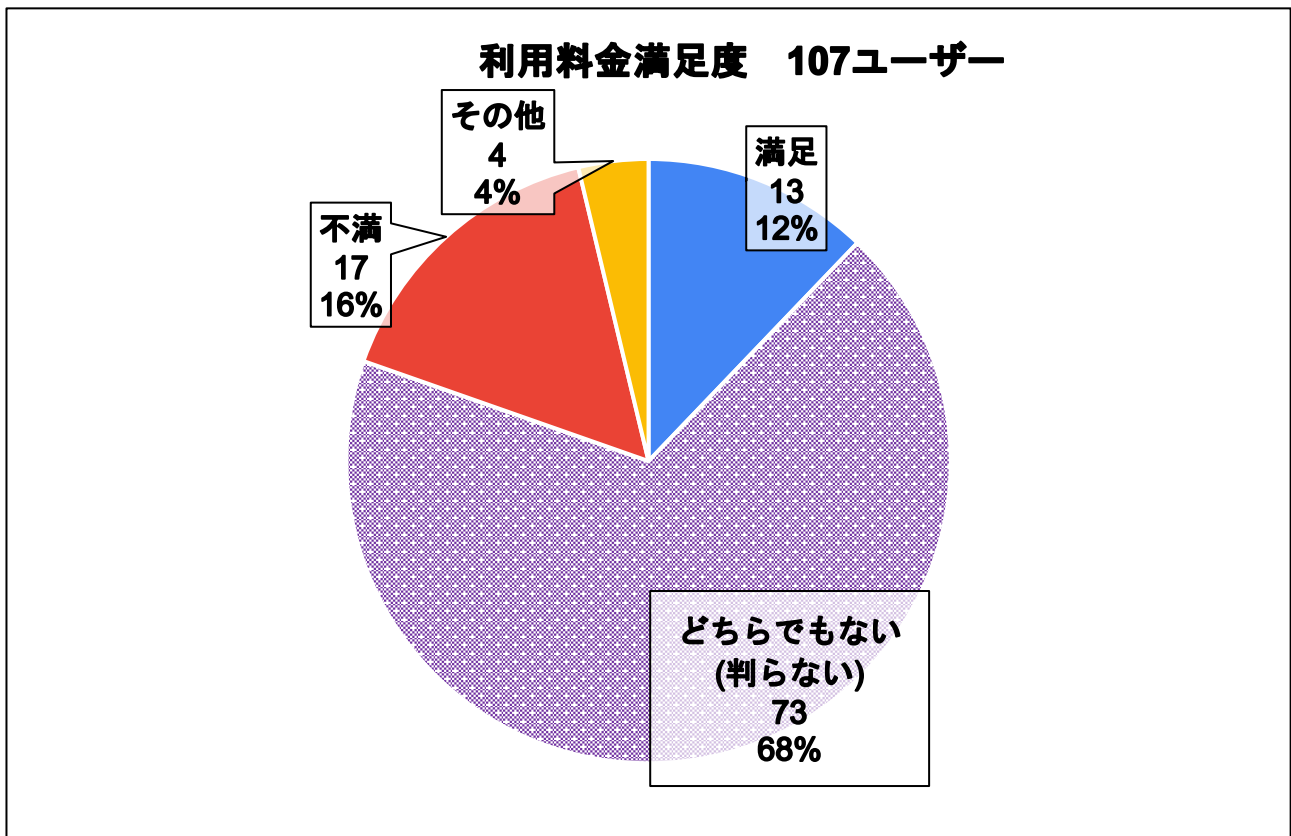
図表8-2 不満足群 52ユーザー



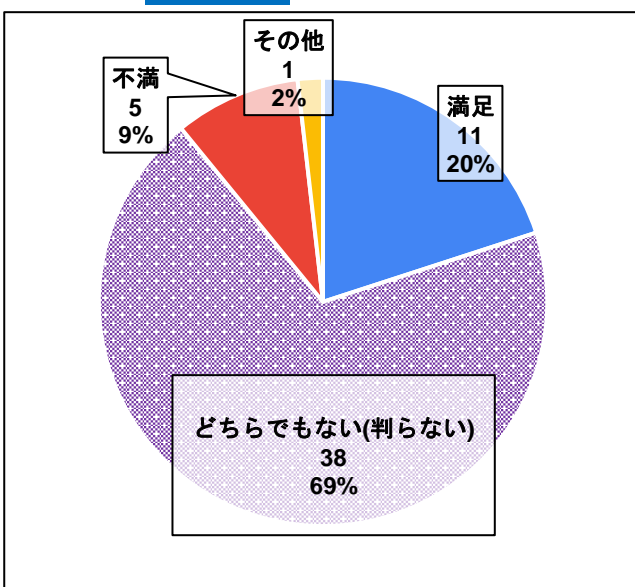
- システムを普及させるためには、病院・診療所への働きかけ（78）と登録方法の簡便化が他の項目と比較してかなり多い。次いで操作性の向上（52）が多い（図表8）。
- 満足群では、病院・診療所への働きかけ（40）、登録方法の簡便化（35）が多い（35）。比較的行政への働きかけ（24）、メリット・活用方法の提示（22）が多い（図表8-1）。
- 不満足群は、全体と同じ傾向だが、満足群と比較して、操作性の向上（33）や料金の変更（29）、マニュアルの作成・配布（19）が比較的多い（図表8-2）。

9 現在の利用料金は満足のいくものですか？ (107ユーザー)

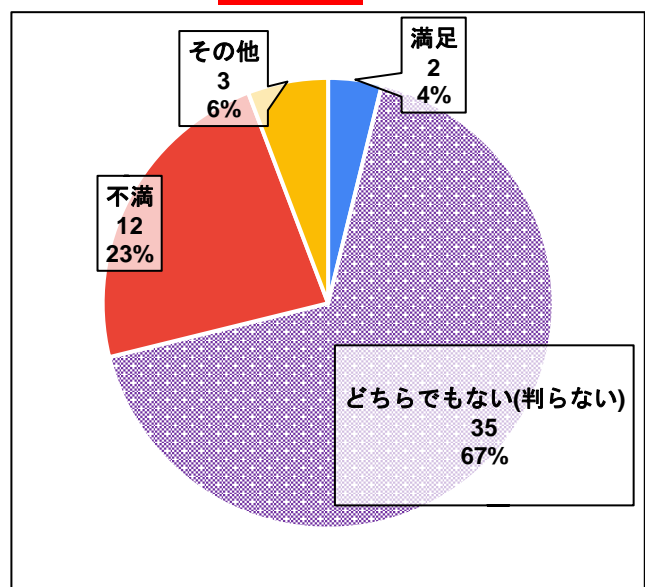
図表9-1



図表9-1 満足群 55ユーザー



図表9-2 不満足群 52ユーザー



- 全体として、利用料金の満足度はどちらでもない（判らない）が多い（68%）（図表9）。
- 満足群も不満足群も、どちらでもない・判らないが多い。満足群では、料金についても満足（20%）が比較的高く、不満足群では不満（23%）が比較的多い（図表9-1, 図表9-2）。

10 改善点について具体的に教えてください

10-1 満足群

東部	市内医師会の加入が少なすぎる。チームの活用は現状夢物語。セキュアメールでの情報交換が多い。市内で決められた書式をテンプレート化し保存できたら使いやすい。
東部	登録を簡単にする。
東部	活用先が限られている為、より普及が進めば色々な活用が可能になると思います。
東部	積極的な情報（必要性）発信
東部	医療機関の普及率が低い。主治医の先生がシズケアかけはしを使用していない。 医師会の方でもっと普及活動をしていただければ、もっと普及率があがると思う。
東部	メディカルケアステーションも使用していますが、主治医と訪問看護、薬局は連携できていますが、デイや訪問入浴などはそこに加わっていないので、別に連絡をする必要がありそれも手間がかかります。いろんな事業所が参加できるシステムであればいいと思います。
東部	各事業所や病院などが利用し連絡方法を1本化すると使いやすいと思います。
東部	利用対象者が少ないが毎日確認しなければならないところ
東部	相手側や関わる事業所全てが利用していないと、結局、FAXや電話でのやり取りから抜け出せない。医療はもちろん介護事業所も全て登録し活用できるようになってほしいと思う。
東部	機器が得意な人は良いが、苦手な人には設定から操作説明など手間がかかる もう少し、手間が省けたらと、活用方法のレクチャーをしてもらいたい。
東部	登録に手間がかかる。料金の問題。色々な役立つ機能があるのに利用者情報交換くらいしか使いこなせていない自身の技術不足の問題。
東部	情報共有ができない。操作が分からない。
東部	医療機関との連携で活用できる場面がないので、医療機関の登録と利用を広げていただきたい。担当者会議や介護サービス事業所間の連携などユーザーが自由に利用できるようにしていただきたい。
東部	多職種に認知され活用されると良い
東部	利用できる医療機関が増えてくるとありがたいです。
東部	利用している病院、事業所が少ない
東部	退院カンファレンスがシステムを使ったりリモートカンファレンスだった為、とりあえず登録しましたが、他の活用は何も考えていませんでした。具体的な活用例を分かりやすく伝えてもらえると助かります。
東部	無料にして介護保険事業所や診療所にも広げる
東部	連携できる事業所が少ない。
東部	医療機関によって非常に活用してくれて情報共有をしっかりとってくれるところと、登録のみでほとんど情報提供してくれないところの落差が激しい。また総合病院などは参加していないところがほとんど（というか西部地区は全くない）なので、そういった病院こそ参加してもっと緊密に情報共有できるようになってほしい。
東部	使用方法が分からないので改善点がわからない どこの事業所が加入しているかが都度確認するのが面倒である。
東部	県内全事業所を一旦無料で加入させた上で、暫く利用してもらってから脱会など出来るようにした方が利用率が上がり使用しやすいと思います。
東部	普及率向上
東部	医療機関がもっと活用してもらえるような働きかけが必要
東部	すべての介護事業所の登録があれば、有効に利用ができるのでは。グループ作成者は、どうなるのかわからない。
東部	数回しか使用したことがなく、改善点を感じるまでに至っていません。申し訳ありません。
東部	利用者の登録が簡単にでき、招待も簡単にできれば良いと思う。 ケアマネ業務の書類作成の多さは、半端ではなく、相談・面接で時間をとられて さらに日々の書類作成で残業や休日出勤している始末。二度手間である、シズケアを利用しにくい 担当者会議らでも使用したいが、使いこなせていないのが現状

東部	操作がわかりにくい
中部	登録事業所を増やす
中部	医療機関とやり取りができない。
中部	包括に予防プランの確認をして欲しいが、システムからデータ化できないため、利用できずに不便です。
中部	マニュアルや操作方法、活用方法など全く分からず登録してしまったので全く活用していない。病院側からメンバー申請？の通知が来たので承認したが、活用の仕方や運用方法がわからないので使っていない。初めて登録した方向けに手引きのような物は存在するのか。それすらわからない
中部	招待がないと登録できない、利用できない機能があること。
中部	利用料金が高く利用継続が困難です、無料であれば利用可能です。
中部	登録していない患者まで案内が配信される。
中部	スマホだとその都度ログインしないと次の配信が見れない
中部	やり方が分からず使用のきっかけがつかめていない。きっかけが欲しいです。
西部	セキュリティを守るため、難しいとは思うが、登録等の方法を簡易的に行えるようになる必要がある。
西部	・介護ソフトとしずけあの両方に記録が必要で面倒になる
西部	・システムが使いにくい
西部	連携が取りたい機関が未登録であると利用できない為、登録への呼びかけを行なってほしい。
西部	ログインしないと確認できない。FAXや電話等に加えてZOOMも活用している中で、活用が難しい。
西部	活用する病院や事業所が増えること、実際にはシズケアを開くより、電話等の方がリアルタイムで対応出来るようになるのが早い。画像等の情報共有は活用できるが、別的手段でも利用できるアプリ等があるため、使い勝手が悪いと感じる。
西部	お互いの業務の負担を減らす為にITやICTを活用すると思うが、未だにEメール等に対応できてない医療、行政の体制があり、動きにくいと感じている。
西部	加入事業者が少ないため活用できない。介護事業所が多く加入してもらいたい
西部	登録している診療所や事業所が少なすぎて連携が取れないので登録事業所が増えるようなメリットを伝えていく
西部	利用事業所数が少なすぎる。

10 改善点について具体的に教えてください

10-2 不満足群

東部	同じ事業所の中にも利用の仕方がわからないため活用に苦慮している職員がいます。もっとインストラクターが定期的に講習会を開いてセキュアメール以外の活用の仕方を教えてほしいです。
東部	せめて、登録事業所が毎日使う。ファックスを廃止してセキュアメールを使うくらいの啓発をする。
東部	死亡した方や、終了した方の消去ができるといい。
東部	料金値下げ
東部	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的なパスワード変更が面倒 ・セキュアメールだと通知が届いたことがわからないので開いたタイミングになってしまうのでセキュアメールが届いたタイミングを知らせてもらえる機能があるとよい ・患者登録は医師が行うため患者登録を積極的に行ってもらえると医療機関との連携も取りやすくなると思う
東部	利用を簡便化してほしい
中部	参加事業所が増えることが一番だと思います。
中部	料金の見直しなど。(料金が高い)
中部	ビデオ会議の不具合が続いている
中部	至急のやり取りができるといいが、電話の方が早いと思っています。
中部	ネット音痴の方にとって勉強会等をお願いしたい。
中部	普及率が悪く習慣化していない。包括へ実績やプランなどの提出を定着させ使用を定着させたい。
中部	操作性
中部	登録者が少なく利用をする事がない。
中部	操作方法がまだまだ未熟なため使用方法の説明会があるといいと思います。
中部	システム利用されている医療機関が少ないと感じます。 メリットのお知らせの普及が必要かと思っています。電話やFAXに匹敵する利用方法の手軽さも必要だと思います。
西部	ログアウトの簡略化
西部	まったく活用していないので改善点もない
西部	使い方がいまいち分りにくい。支援チームの登録方法等
西部	多くの病院、事業所が活用する。
西部	更新の手続き操作が難しく手間がかかりすぎる。
西部	どのように活用していいか教えてほしい。
西部	病院や事業所等の加入が少ない状況なので、増やしていただけるともっと活用できる。
西部	サービス導入時の医師への意見うかがい等がもっと気軽できるように、病院、診療所が理解を示してほしい。
西部	費用面、思うほど周知されていない、加入事業所が少なく活用できない
西部	パスワードの更新が多すぎる。

11 今後期待する活用場面・方法等について教えてください

11-1 満足群

東部	地域包括支援センターとの実績、評価、プランのやり取り
東部	主治医との連携が取れるようになってほしい。
東部	地域のサービス事業所と連絡が取りあえるように、FAXやメールを送るような感覚で利用できれば良いと思う。
東部	医療系サービス導入時や、軽度者の福祉用具貸与で医師に意見を聞くときなど
東部	緊急時・災害時の活用
東部	地域包括支援センターとの連携
東部	主治医との情報共有。コロナの中で病院に行くことが難しい場合の連携、状態確認ができる。
東部	主治医との情報共有のツールであったら良い。
東部	残念ながら、頻繁に使っているわけではない。
東部	災害時等には、電源確保ができ、機器活用できる体制があれば、行政機関から情報を得ることができる。
東部	近隣の病院や行政やサービス事業所が連携を統一するために一つのシステム（シズケアかけはし）で連携をする事を採用してくれると利用する幅が広がり連携もスムーズに行えるようになる。
東部	ケアプラン作成システム、請求システム等が入っていれば良い。・「入院時情報提供書」「退院退所情報記録書」等がテンプレートとしてある。・医療連携と言うだけでなく、介護事業所との連携をはじめに進めた方が良い。
東部	緊急時や災害時の各事業所や救急隊等に情報の共有が出来るとスムーズに搬送できる。
東部	情報が来た場合のサイン
東部	どこの病院とも連携が図れる
東部	医療連携がスムーズにできるのはとてもいいと思う
東部	医師からの意見聴取など医療機関とのやり取りにもっと活用していきたい
東部	緊急時に情報共有ができる
東部	行政機関と書類のやり取りができる。
中部	利用している各サービス事業所と情報共有が迅速にできる。
中部	医療機関との情報連携や加算の取得がオンライン上でできるといい。
西部	もっと加入するサービス事業所が増えれば、情報共有が確実に出来る。
西部	状態変化の多い看取りケース等、情報がすぐに伝わる。
西部	リモートでの担当者会議等に活用が出来ると良い。
西部	行政手続きができる。
西部	包括とやりとりができる
西部	どういことができるのか今一つよくわからないので思いつきません。
西部	入院時情報提供書や主治医相談書をfaxで送付しているが、しずけあのメールで送れるようになるといいと思います
西部	チームでのやり取りの充実。介護サービス事業所（デイ、ヘルパー、福祉用具等）との情報共有がチームでできる
西部	サービス担当者会議などでウェブ開催をしたとして、利用者家族が自宅から動けず、自宅での開催ができるようなタブレット（iパット等）を用い、開催ができれば、容易に担当者会議や事業所との情報共有や病院医師との共有もしやすくなると思う。（契約者が事業所の管理者がなることが多いため、事業所にあるパソコン上で契約をしていることから、持ち運べるタブレットの操作ができないのではと考える）
西部	災害時の活用

11 今後期待する活用場面・方法等について教えてください

11-2 不満足群

東部	まだ使えていないので、支援チームを作って活用してみないと分かりません。
東部	多くの関係者が利用できれば、災害時等に迅速に対応できる。
東部	医療機関、主治医と情報共有ができるとありがたい。
東部	コロナ禍でもあり、担当者会議やカンファでの活用ができる
東部	医療との連携が簡単に行う事が出来る。
東部	提供票、実績、利用時の報告のやり取りができる。
東部	障害や困難事例のかかわりの内容を共有することで連携する（いちいち連絡しないで済むようになる）
東部	利用システムから情報が移行できるともっと利用し易くなると思います。
東部	地域包括支援センターと実績のやり取りができる。
中部	救急搬送時に活用する事によりケアマネが長時間拘束されることなく連携が図れるといいと思う。また、軽介護度の車いすや介護ベッドのレンタルについて主治医からの意見が得やすいようなものがあるといい。
中部	サービス担当者会議等に活用できれば良い
中部	災害時等の情報共有、地域ケア会議、サービス担当者会議
中部	医師が登録しているのに、活用する気がなかった。ターミナルのケースで使用するイメージだが、幅広く利用できると良い。
中部	ビデオ会議や通話が活用されて、時間のロスや感染リスクを下げる事が出来るかと思っています。
中部	担当者会議のオンライン化 研修で活用
中部	コロナ禍で、活用したいのはやまやまだが、利用者登録すらできない
中部	主治医の先生とのやり取り
中部	主治医の先生と訪問看護のやりとりの把握 全事業所が参加し、事務量が削減できる。
中部	情報提供書などの書類のやり取りができると良いです。
西部	医療機関や訪問看護事業所との情報共有ができる
西部	在宅看取りでの連携。オンラインでの退院カンファレンス。普段の連絡調整。
西部	医師といった繁忙な職種への情報共有
西部	使用方法が分からないのでわからない
西部	地域の診療所（掛かりつけ）と、総合病院との情報共有で入退院を繰り返す高齢者の在宅支援が円滑にできる様支援したい
西部	医師しか登録できないことが不満。活用できない
西部	診察情報の共有ができるといいなと思います。
西部	主治医との連携

12 現在活用しているユーザーの方へ、伝えたいことがあれば教えてください

12-1 満足群

東部	入院頻度の高い利用者の継続的情報共有については特に利便性が高い
東部	主治医からの指示や処置、訪問内容を関係事業者が同時に確認できるので、担当者会議の役割を担うことができる。
東部	患者さんの情報について、他職種で情報共有をすぐにできることが良い
東部	・包括との予防プランの確認 ・病院、診療所とのセキュアメールでの情報交換(状態の報告、入退院の連絡、医療系サービスの導入・意見) ※現地に行くよりも時間短縮できている。
東部	地域包括支援センターへの実績やプランや評価の確認ができ届ける時間の短縮になり役立っている。
東部	包括への予防評価をしずけあを利用してプランチェックしてもらっている
東部	包括への書類提出は全てセキュアメールで行っているため、無駄な時間がなくなった。
東部	私は地域包括支援センターとの実績や情報共有、医療機関との情報共有など活用していますが、富士医師会の医療機関は登録されている数が少ないと思います。
中部	利用してみたら思っていた以上に主治医や他の関係機関との連絡や情報が得やすかった。
中部	床ずれがある利用者様の画像を、利用中のデイで撮ってもらい、医師に送ると、医師から処置の指示があり、適切な処置をデイでやってもらえる。完治を目指し、定期的に繰り返し行っている。
中部	診療内容や状態、処方薬について確認する事ができる。
西部	日々病変する方や心身変化のある方への情報共有をしています。ガン末期の方でご本人に未告知にしたい家族への支援をする際の情報共有をこのシステムを活用することで病状の経過を知ることができています。
西部	画像の共有。会わずに情報共有できる。
西部	医者、訪問看護とのやり取りにケアマネが入り支援ができること。
西部	病院の退院カンファレンスに在宅の主治医が参加でき退院支援がスムーズにできること。

12-2 不満足群

東部	入院時や利用者様のアセスメントのやり取りができるので助かっている。
中部	セキュアメールは便利です。
中部	訪問時の様子を画像や動画でやり取りが出る
中部	医師と直接メールのやり取りが出来、情報の共有や報告が確実にできます。医師のお考えや指示が理解しやすくなるのでご利用者様へもわかりやすく説明することが出来ます。また薬剤師の方との情報共有にはとても助けられています。医師や医療機関への橋渡しもしてくださり感謝しています。
西部	在宅での看取りや、褥瘡の管理棟、状態の変化が激しいものに関しては、非常に便利だと感じる。
西部	訪問診療の情報を共有できる
西部	脱紙化、脱FAX化したいので活用したいです。改善をよろしく願いいたします